

平成 27 年度
西成区民意識調査(区民モニターアンケート)
報告書

平成 28 年 3 月
大阪市西成区役所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1

II 調査の結果

1. 回答者の属性	2
(1) 回答者の性別	2
(2) 回答者の年齢	2
(3) 家族構成	3
(4) 回答者の居住地域	4
(5) 回答者の居住年数	4
2. 「健康づくり」に関して	5
問1 喫煙の状況	5
問2 飲酒の状況	6
問3 定期的な運動	8
問4 区役所等での無料結核健診の認知度	10
問5 健康診断等の受診状況	11
問6 朝食の習慣	14
問7 食事のバランス摂取度	15
問8 野菜の摂取量	16
3. 「在宅療養」に関して	17
問9 医療と介護が必要な場合の在宅療養の不安	17
問10 医療や介護サービスの相談相手	19
問11 在宅医療サービスの認知度	21
問12 医療や介護サービスなどの情報の入手先	22
問13 医療と介護が必要な場合の希望する生活の場	24
問14 人生の最期を過ごしたい場所	26
4. 「子育て・教育」「福祉」に関して	27
問15 子育て環境の充実度	27
問16 子育てに関する区役所情報の提供状況	30
問17 子育て情報の入手先	31
問18 子どもの遊び場の確保状況	32
問19 健全育成に必要なこと	33
問20 小中学校の基礎学力の向上策	35
5. 「人権・生涯学習」に関して	36
問21 人権に関する関心度	36
問22 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ	37
問23 知っている生涯学習事業	39
問24 西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度	40
問25 生涯学習活動による地域のつながりの深化の感想	41

6. 「防犯・防災」に関して	42
問 26 今宮中学校周辺の通学環境改善の感覚	42
問 27 交通ルール・マナーに関する区民意識	43
問 28 安心安全なまちとしての変化	44
問 29 日ごろからの災害に対する備え	45
問 30 津波被害を受ける可能性の認知度	47
7. 「地域活動」「コミュニティ育成」に関して	49
問 31 地域活動への関心度	49
問 32 地域のまちづくり活動の連携・協働の推進の意識	51
問 33 地域公共人材の活躍状況	53
問 34 地域活動協議会の認知度	54
問 35 知っているコミュニティ育成事業	56
問 36 コミュニティ育成事業への参加状況	58
問 37 コミュニティ育成事業の効果	60
8. 「イメージアップ」「広報紙」に関して	61
問 38 知っているイメージアップ推進の取組み	61
問 39 イメージアップ等に効果的な取組み（自由記述）	63
問 40 西成区のイメージ	64
問 41 区民以外の西成区のイメージ	65
問 42 区役所情報の入手先	66
問 43 広報紙「にしなり我が町」の読書度	68
9. 「区政会議」「西成特区構想」に関して	71
問 44 区政会議の認知度	71
問 45 西成特区構想の認知度	72
問 46 西成特区構想による改善効果	73
問 47 あいりん地域の環境改善	75
問 48 単身高齢生活保護受給者のつながりづくり事業の認知度	76

III 参考

欄外等への記述	79
---------------	----

I 調査の概要

1. 調査の目的

西成区は、人情味があふれ、古い歴史を有するなど魅力あふれる個性豊かなまちである。しかしながら、少子高齢化やあいりん地域の問題など、さまざまな問題を抱えており、それらを解決するためには、24区一律の施策ではなく、西成区に特に有効な施策を検討し実施・推進する「西成特区構想」をはじめとする様々な施策を進めていく必要がある。そこで、区役所が取り組んでいる事業などについてのご意見やお考えをおたずねし、今後のまちづくり施策や事業を進めるうえで、参考資料とするため、区民意識調査（区民モニターアンケート調査）を実施する。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 住民基本台帳及び外国人登録データから無作為に抽出した 18 歳以上の区民
- (2) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (3) 調査期間 平成 28 年 1 月 14 日（木）～2 月 1 日（月）（12 日（金）到着分まで）

3. 回収状況

- (1) 対象者数 1,500 名
- (2) 発送数 1,438 名（あて先不明等で 62 名未到達）
- (3) 有効回収数 438 票
- (4) 回収率 29.2%（対象者数に対する有効回収率）
30.5%（発送数に対する有効回収率）

4. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100% とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100%を超える。
- (3) %は、その質問の回答数（全体など）を母数として算出している。
- (4) 本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。

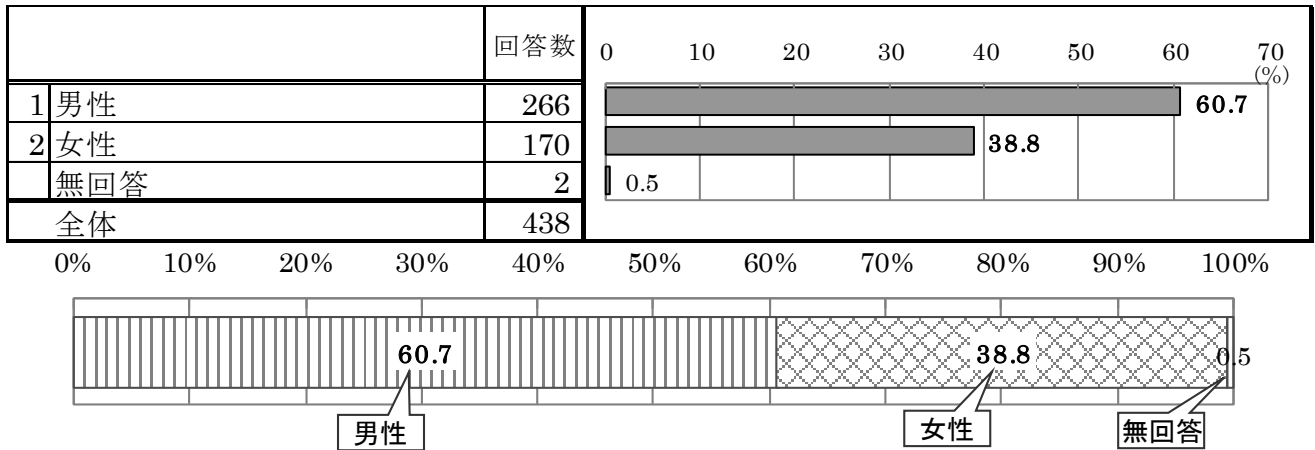
MA%（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

- (5) 「全体」は有効回答 438 票であり、「該当数」は回答が限られた場合の合計である。
- (6) 本文中のグラフなどにおいて、長い文となる選択肢は簡略化している場合がある。
- (7) 年齢別については、年齢ごとの回答数が少ないため、参考として表示している。
- (8) 回答結果が 0.0%の場合、グラフにおいて、その表示を省略している場合がある。

II 調査の結果

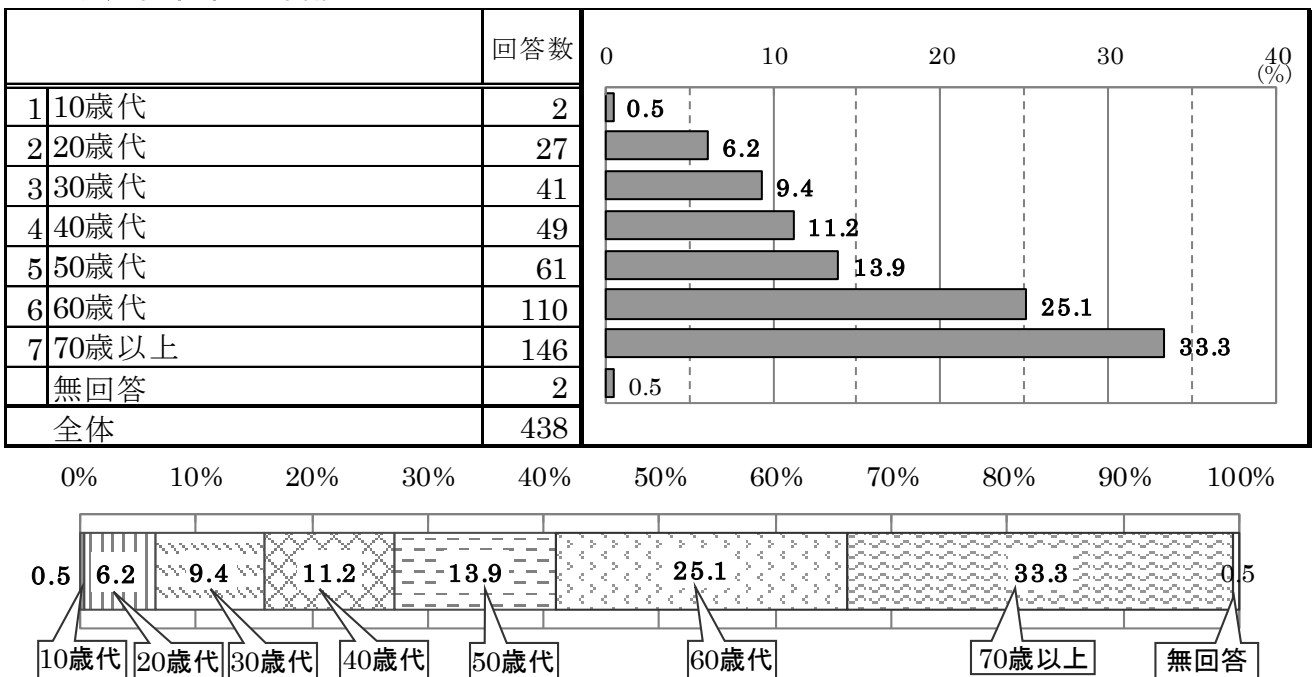
1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別



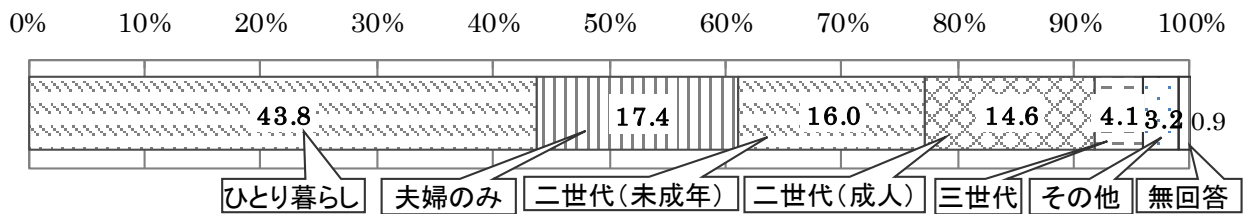
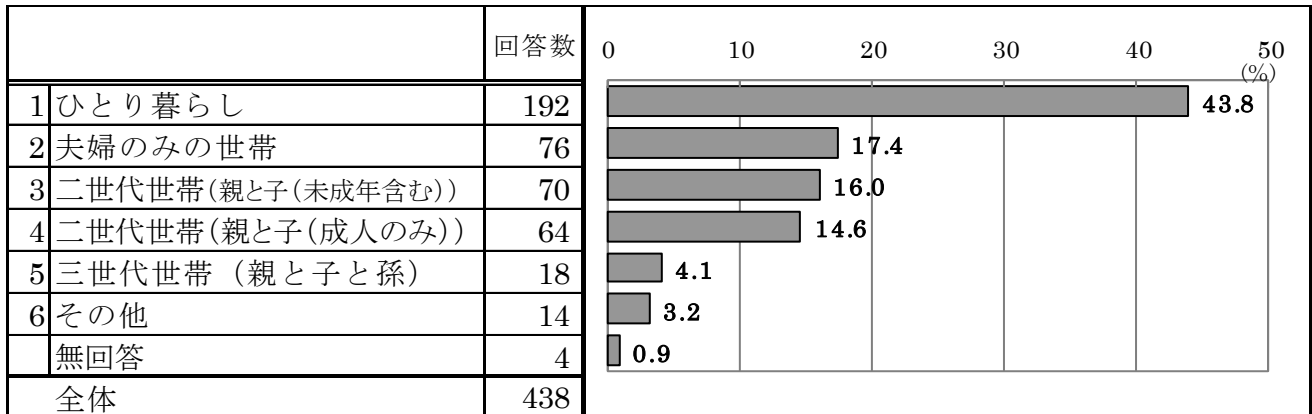
回答者の性別は、「男性」が 60.7%、「女性」が 38.8%となっている。

(2) 回答者の年齢



回答者の年齢は、「70歳以上」が 33.3%と最も多く、次いで「60歳代」が 25.1%、「50歳代」が 13.9%、「40歳代」が 11.2%となっている。

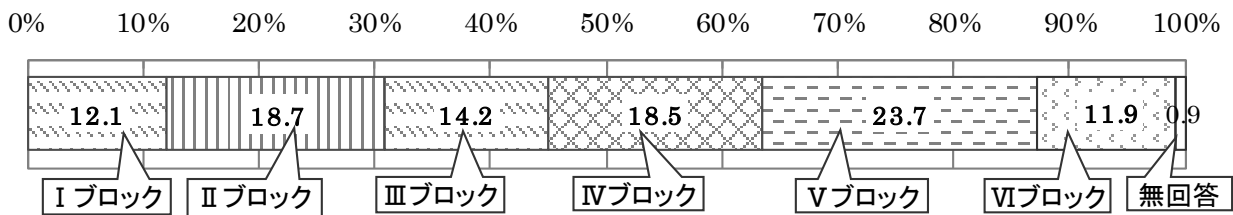
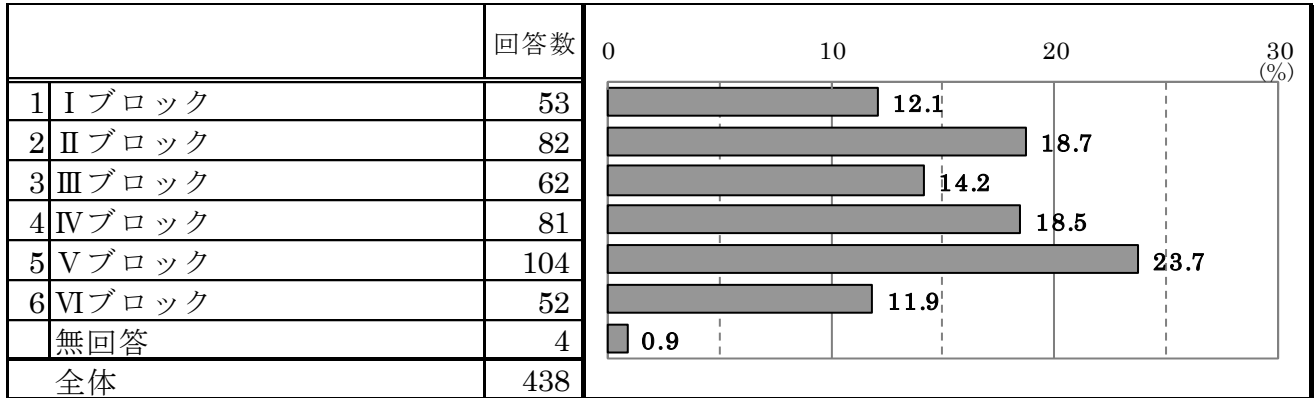
(3) 家族構成



※「その他」の主な内容：兄弟・姉妹(4)、母と2人暮らし(2)、本人と孫 など

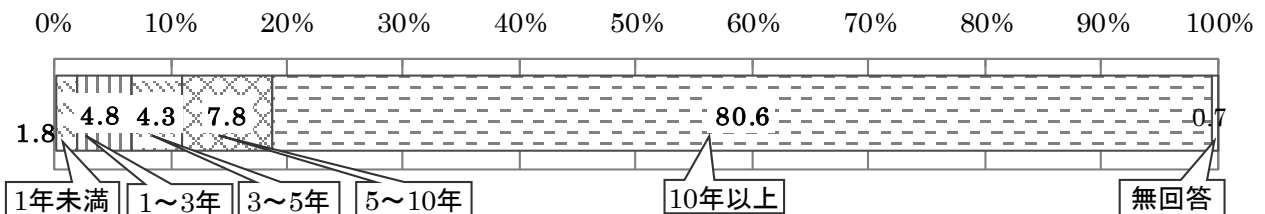
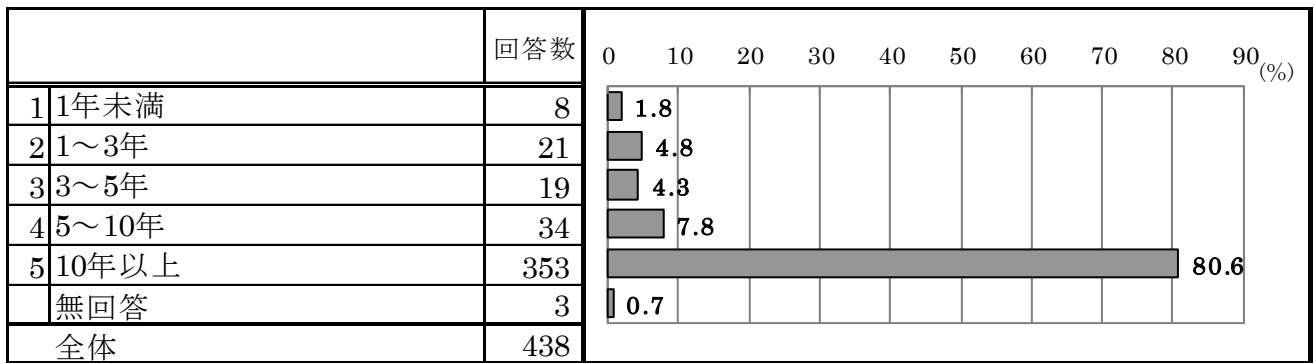
回答者の家族構成は、「ひとり暮らし」が 43.8%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が 17.4%、「二世帯世帯(親と子(未成年含む))」が 16.0%、「二世帯世帯(親と子(成人のみ))」が 14.6%となっている。

(4) 回答者の居住地域



回答者の居住地（ブロック）は、「Vブロック（松、橘、潮路、千本北、千本中、千本南）」が23.7%と最も多く、次いで「IIブロック（山王、太子、萩之茶屋、花園北、天下茶屋北）」が18.7%、「IVブロック（岸里二・三丁目、天神ノ森、岸里東、玉出東、玉出中、玉出南）」が18.5%、「IIIブロック（花園北、天下茶屋東、天下茶屋、聖天下、岸里一丁目）」が14.2%、「Iブロック（北開、中開、南開、出城、長橋、鶴見橋、旭、梅南）」が12.1%、「VIブロック（北津守、津守、南津守）」が11.9%となっている。

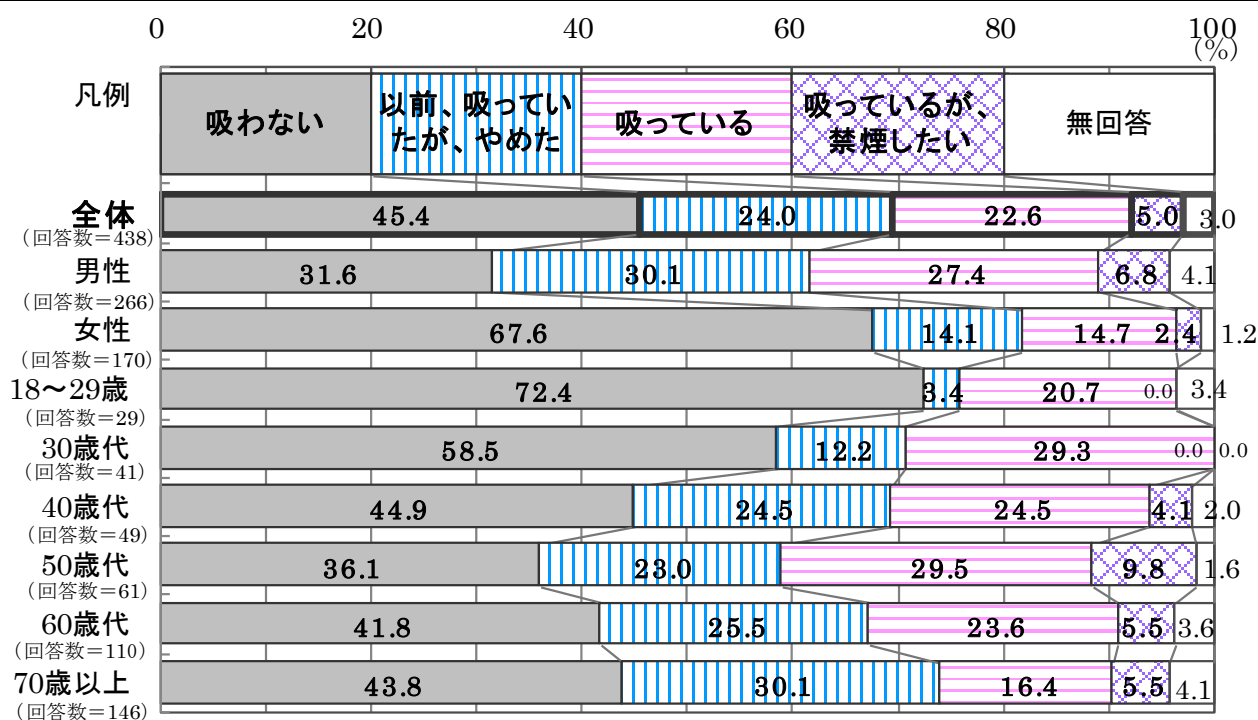
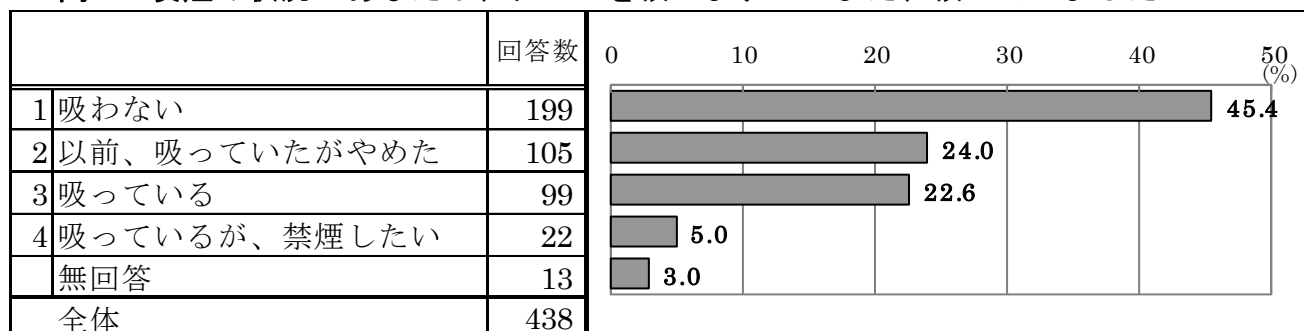
(5) 回答者の居住年数



回答者の通算した西成区での居住年数は、「10年以上」が80.6%と8割を超えている。

2. 「健康づくり」に関して

問1 喫煙の状況 あなたは、タバコを吸いますか？また、吸っていましたか？



喫煙は、「吸わない」が45.4%と4割を超えており、「以前、吸っていたがやめた」の24.0%と合わせると“タバコを吸っていない”人は69.4%となっている。また、「吸っている」が22.6%、「吸っているが、禁煙したい」が5.0%であり、合わせて“タバコを吸っている”人は27.6%となっている。

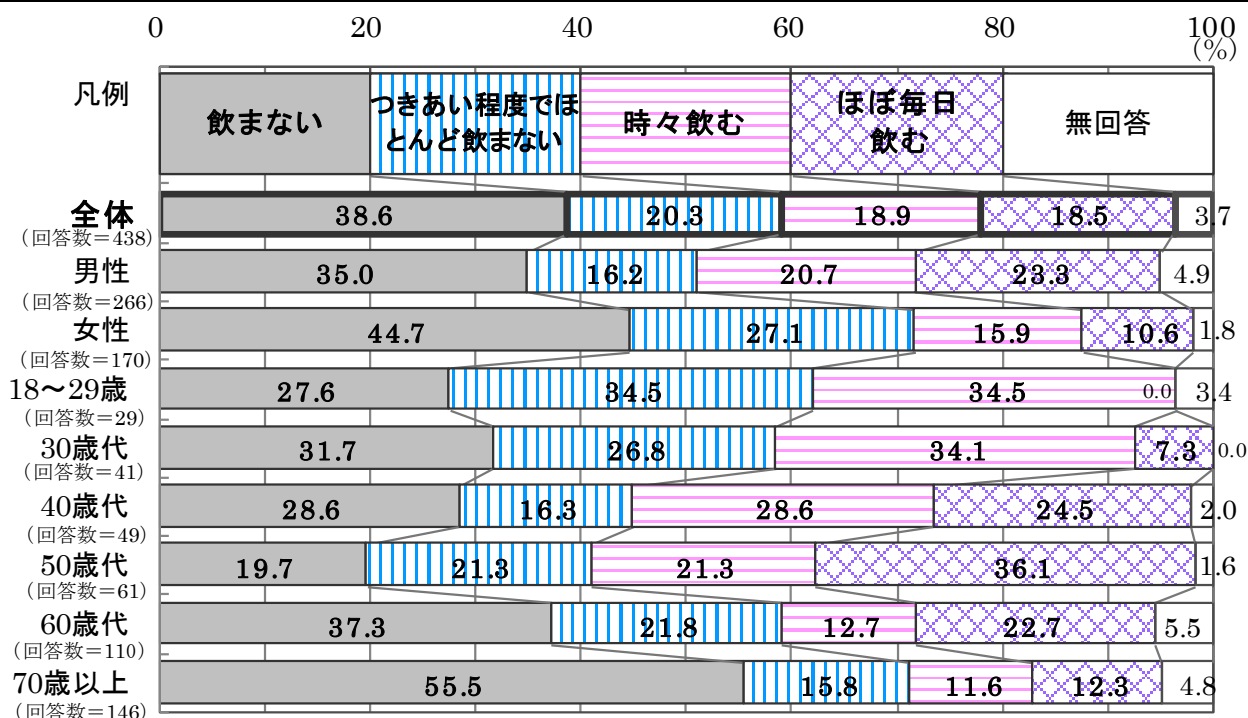
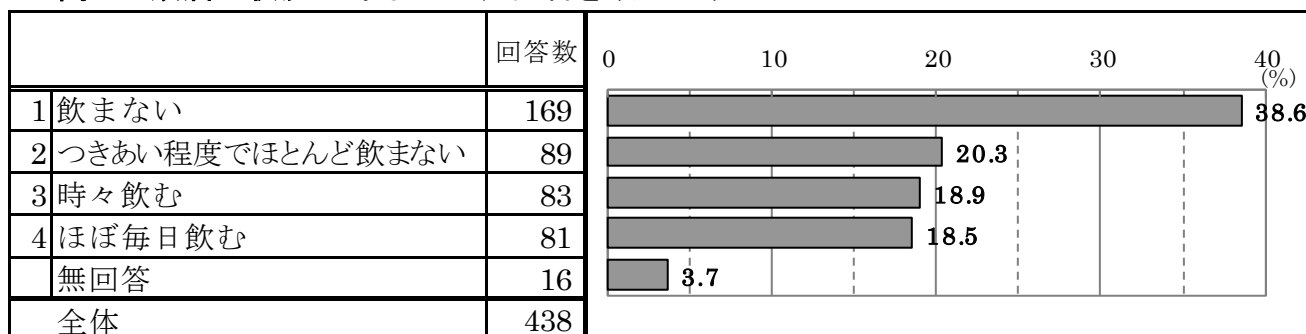
男女別にみると、“タバコを吸っていない”のは、『男性』が61.7%、『女性』が81.7%となっている。“タバコを吸っている”のは『男性』が34.2%、『女性』が17.1%となっている。

なお、「以前、吸っていたが、やめた」人の1日平均喫煙本数は、20本が29人、10本が15人、30本と40本がともに13人となっている。年数は、20年と40年がともに13人となっている。

「吸っている」人の1日平均喫煙本数は、20本が36人、10本と15本がともに18人となっている。年数は、40年が13人、20年と30年が12人となっている。

また、「吸っているが、禁煙したい」人の1日の平均喫煙本数は、20本が7人、10本が6人となっている。年数は、40年が7人、30年が4人となっている。

問2 飲酒の状況 あなたは、お酒を飲みますか？

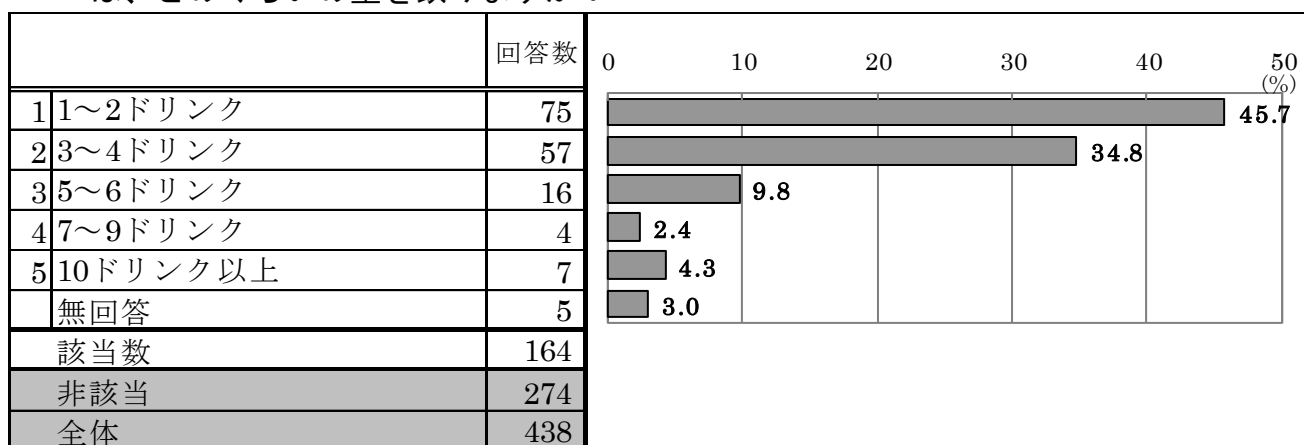


飲酒は、「飲まない」が 38.6%と最も多くなっている。「時々飲む」が 18.9%、「ほぼ毎日飲む」が 18.5%であり、合わせて“飲酒している”人は 37.4%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎日飲む」が 23.3%、「時々飲む」が 20.7%であり、『女性』は「飲まない」が 44.7%となっている。

なお、「時々飲む」人の 1 週間の飲酒日数は、2 日が 24 人、1 日が 16 人、3 日が 14 人となっている。

問2-1 飲酒量（問2で「時々飲む」「ほぼ毎日飲む」と回答の方のみ） 飲む時には、どのくらいの量を飲みますか？

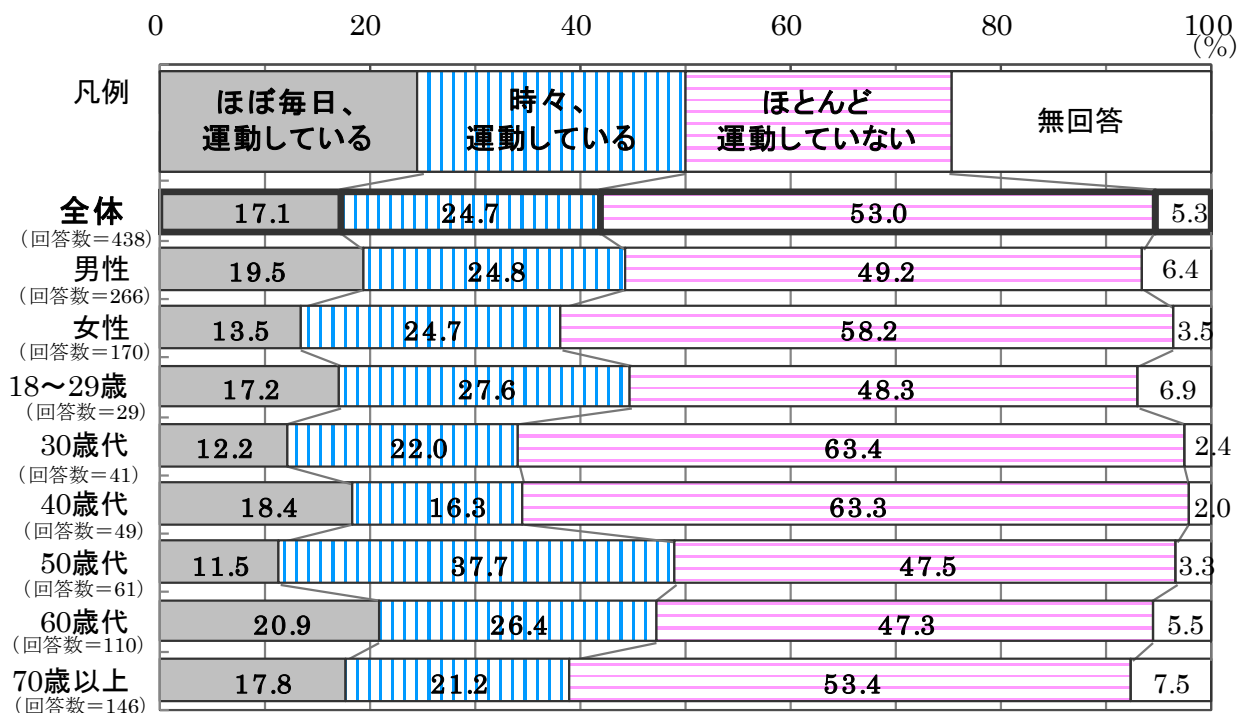
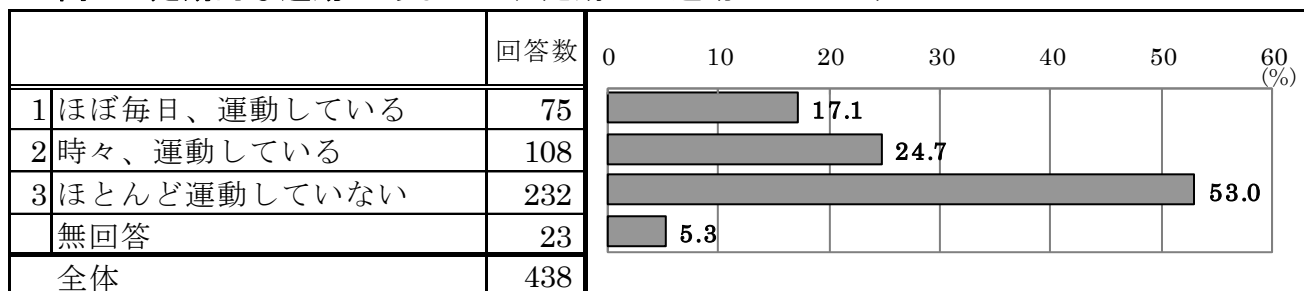


※1ドリンク量の目安

種類 (度数)	ビール・発泡酒 (5%)	チューハイ (7%)	焼酎 (25%)	日本酒 (15%)	ウイスキー・ジン (40%)	ワイン (12%)
量	250ml 中ビン半分・ ロング缶半分	180ml コップ1杯・ 350ml缶半分	50ml	80ml 0.5合	30ml シングル1杯	100ml ワイングラス 1杯弱

飲酒量は、「1～2ドリンク」が45.7%と最も多く、次いで「3～4ドリンク」が34.8%となっている。

問3 定期的な運動 あなたは、定期的に運動していますか？



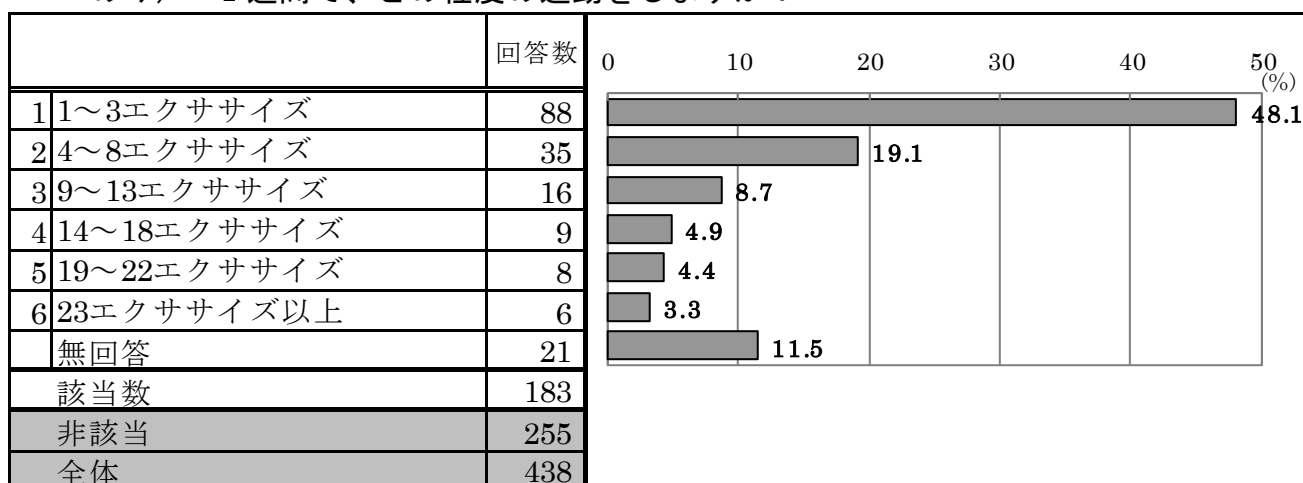
定期的な運動は、「ほとんど運動していない」が53.0%と半数を超えている。

「ほぼ毎日、運動している」が17.1%、「時々、運動している」が24.7%であり、合わせて“運動している”人は41.8%となっている。

男女別にみると、“運動している”のは『男性』が44.3%であり、『女性』は38.2%となっている。

なお、「時々、運動している」人の1週間の運動日数は、2日が27人、3日が23人、1日が19人となっている。

問3-1 運動量（問3で「毎日、運動している」「時々、運動している」と回答の方のみ） 1週間で、どの程度の運動をしますか？



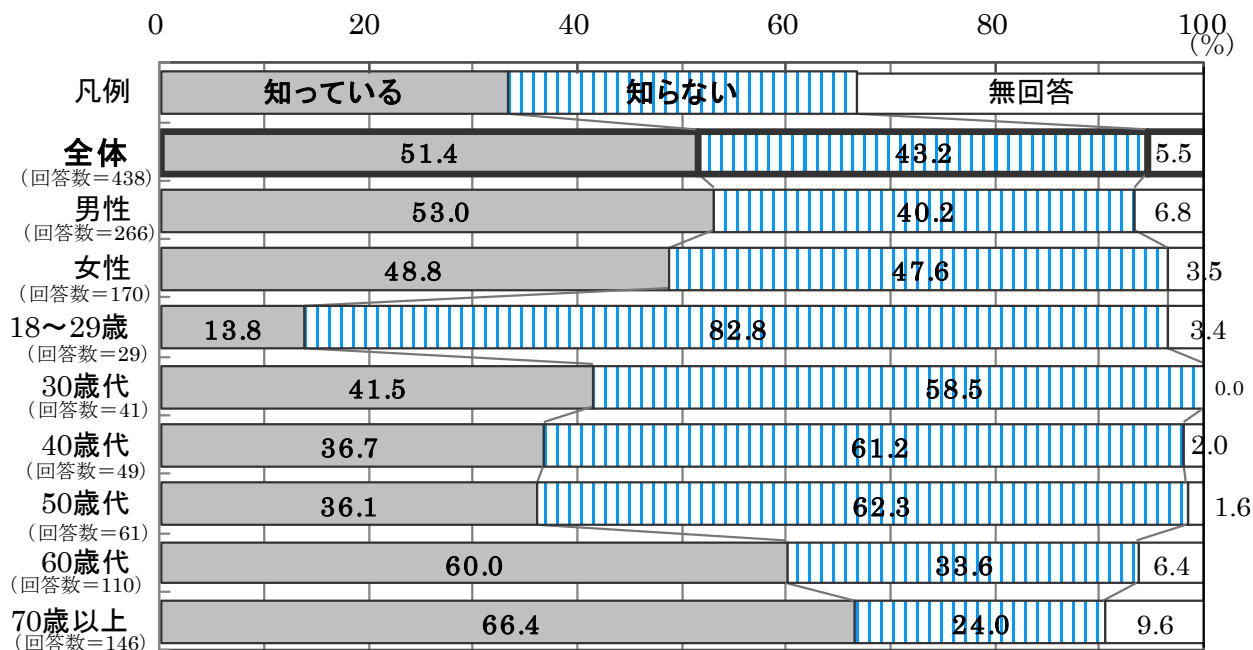
※1エクササイズの目安

種類	普通の歩行・バレーボール・筋力トレーニング(軽・中度)	ラジオ体操・速歩・自転車・ゴルフ・卓球・バドミントン・アクアビクス・太極拳	階段昇降・水泳(ゆっくり)・軽いジョギング・筋力トレーニング(高強度)・エアロビクス・サッカー・バスケットボール・テニス・スキー・スケート	ランニング・水泳・登山・柔道・空手
時間	20分	15分	10分	7～8分

「毎日、運動している」「時々、運動している」人の運動量は、「1～3 エクササイズ」が48.1%と最も多く、次いで「4～8 エクササイズ」が19.1%となっている。

問 4 区役所等での無料結核健診の認知度 あなたは、区役所及び分館で、無料で結核健診を受診できることを知っていますか？

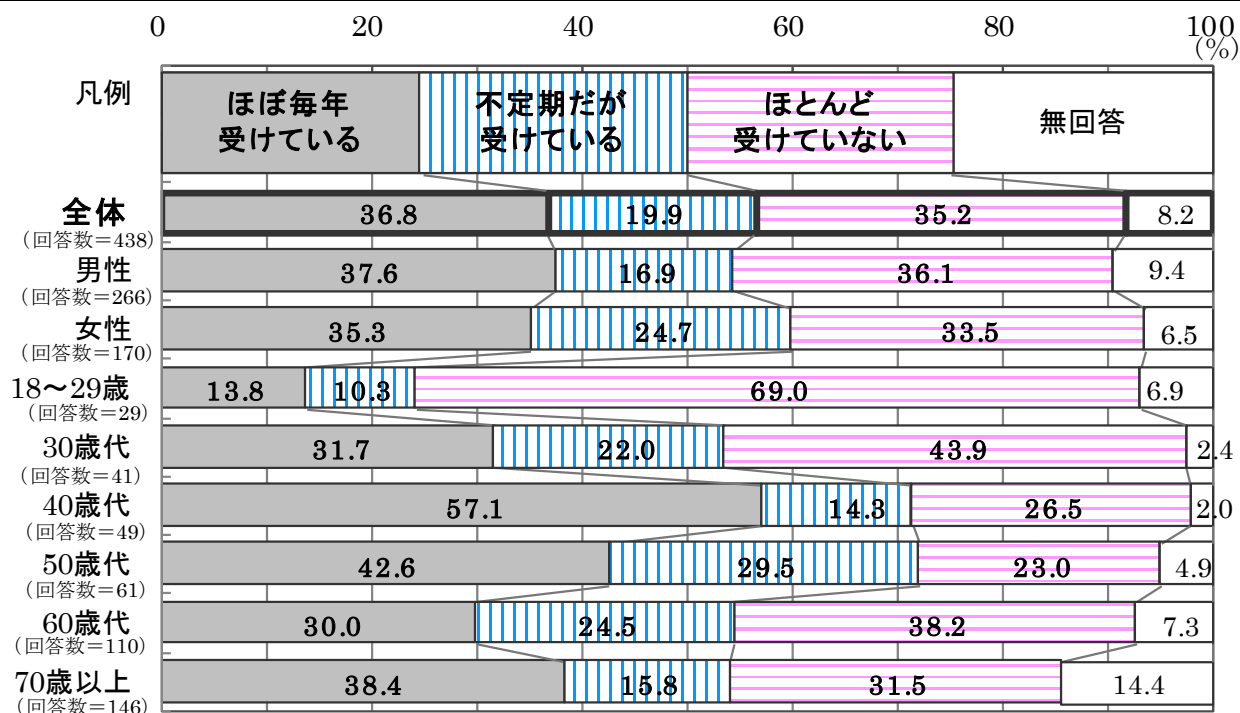
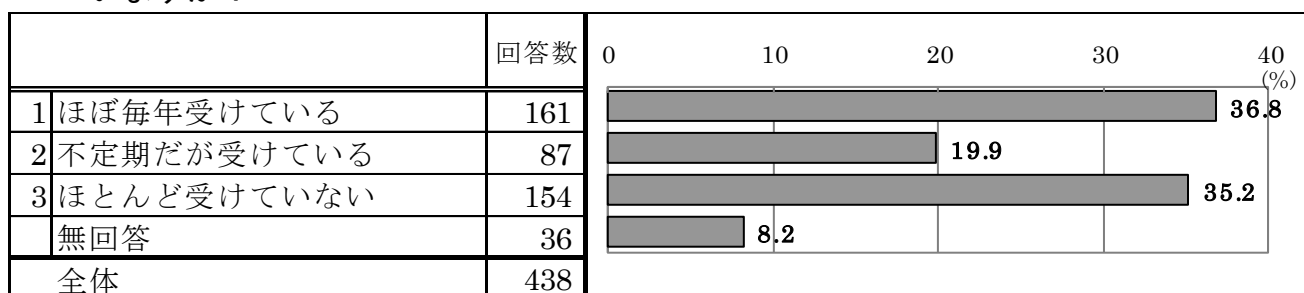
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	
1 知っている	225	51.4 (%)							
2 知らない	189	43.2 (%)							
無回答	24	5.5 (%)							
全体	438								



区役所や分館で無料で結核健診を受診できることは、「知っている」が 51.4%と半数を超えており、「知らない」は 43.2%となっている。

男女別にみると、「知っている」は、『男性』が 53.0%、『女性』が 48.8%となっている。

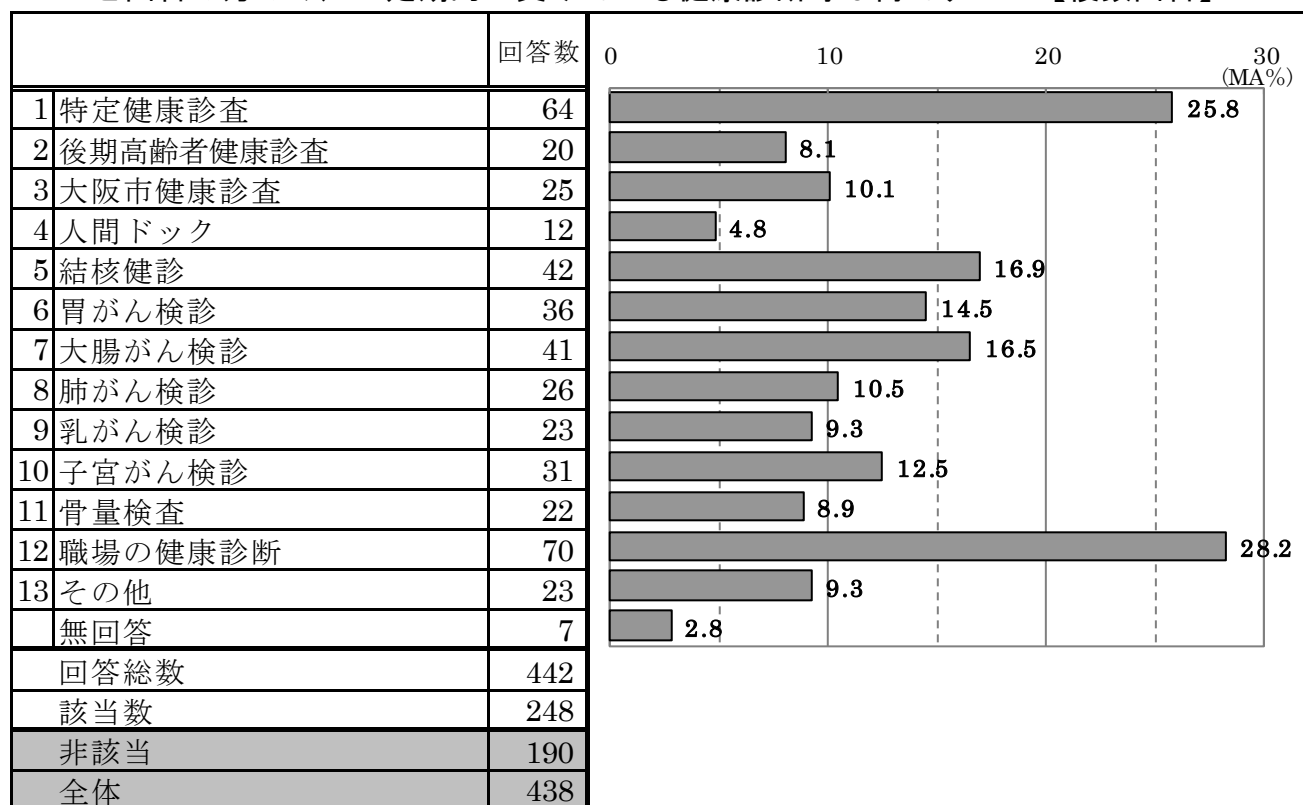
問5 健康診断等の受診状況 あなたは、定期的に健康診断やがん検診を受けていますか？



健康診断は、「ほぼ毎年受けている」が 36.8%と最も多く、次いで「ほとんど受けていない」が 35.2%、「不定期だが受けている」が 19.9%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎年受けている」が 37.6%、「ほとんど受けていない」が 36.1%、「不定期だが受けている」が 16.9%となっている。また、『女性』は、「ほぼ毎年受けている」が 35.3%、「ほとんど受けていない」が 33.5%、「不定期だが受けている」が 24.7%となっている。

問5-1 健康診断等の内容（問5で「ほぼ毎年受けている」「不定期だが受けている」と回答の方のみ） 定期的に受けている健康診断等は何ですか？【複数回答】

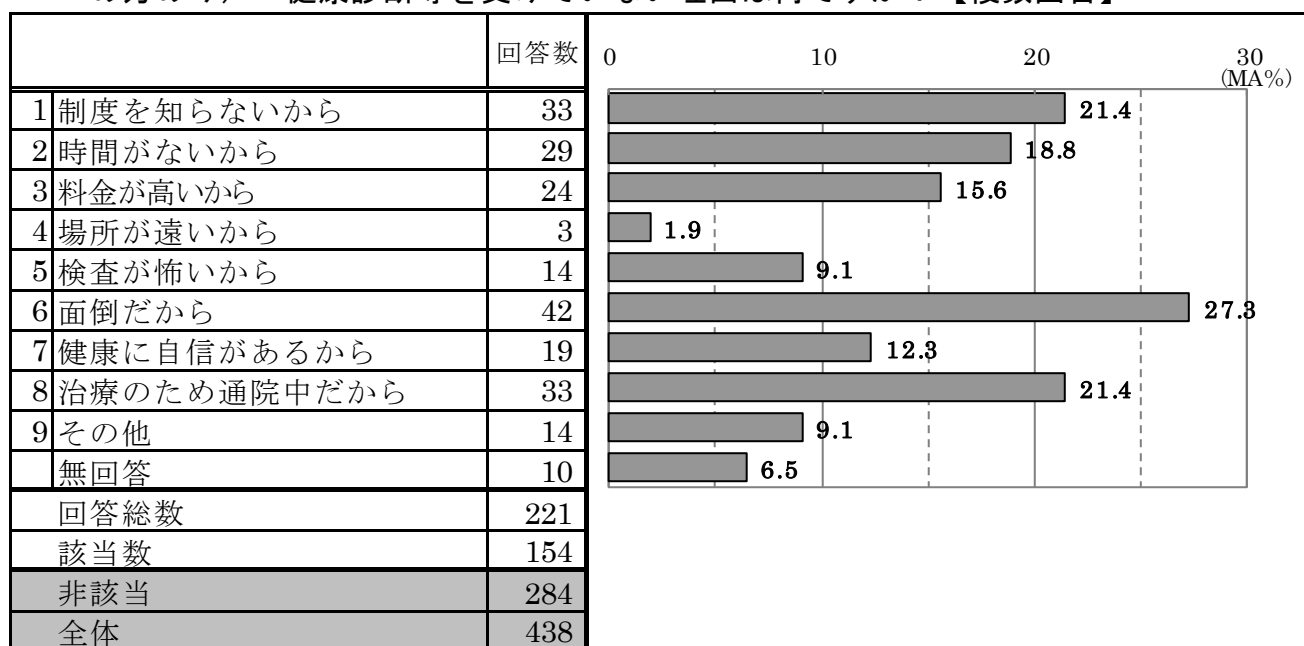


※『ほぼ毎年受けている』人の「その他」の主な内容：会社の健康診断（4）、血液検査（3）、病院等での健診（3）、入所施設等での健診（2） など

※『時々、受けている』人の「その他」の主な内容：血液検査（5）、胃カメラ、脳のMRI・CT など

受けている健康診断等（複数回答）は、「職場の健康診断」が 28.2%と最も多く、次いで「特定健康診査」が 25.8%、「結核健診」が 16.9%となっている。

問 5-2 健康診断等を受けていない理由（問 5 で「ほとんど受けていない」と回答の方のみ） 健康診断等を受けていない理由は何ですか？【複数回答】

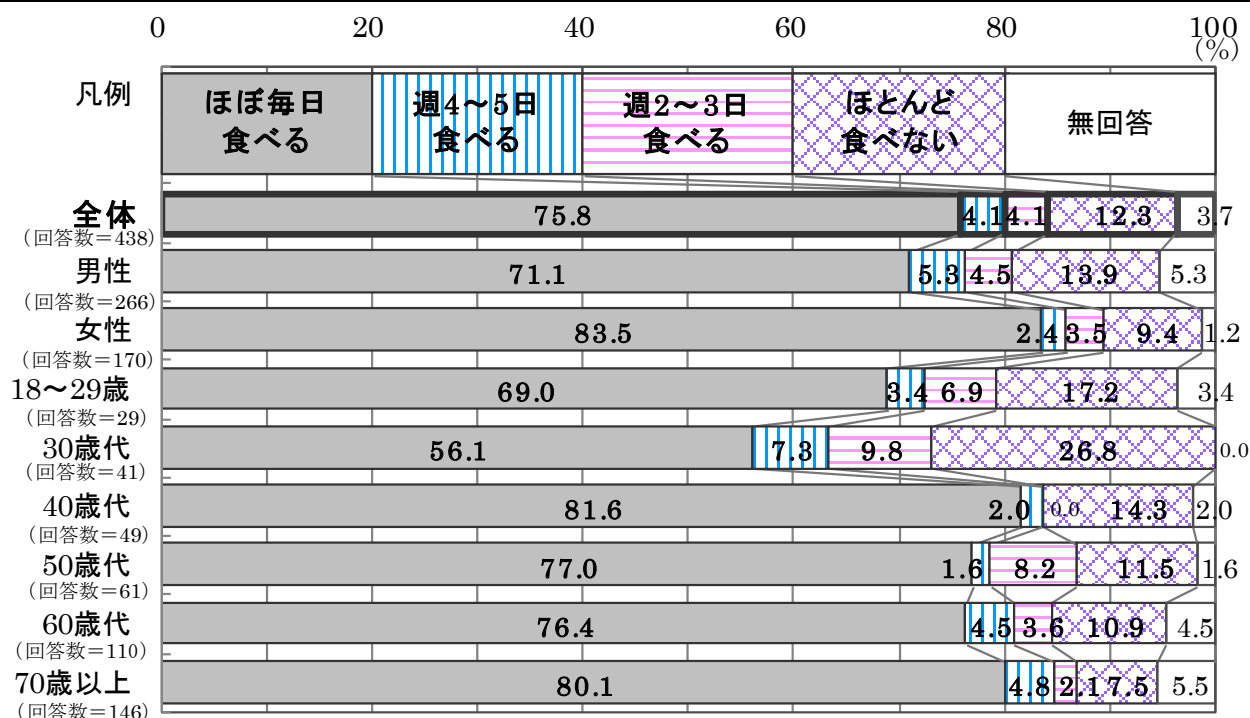


※「その他」の主な内容：かかりつけ医がいる（2）、受診・治療中（4）、障がいがあるから（2）、子どもを預けるところがない、特に悪いことがない など

健康診断等を受けていない理由（複数回答）は、「面倒だから」が 27.3%と最も多く、次いで「制度を知らないから」と「治療のため通院中だから」が 21.4%となっている。

問6 朝食の習慣 あなたは、普段、朝食を食べていますか？

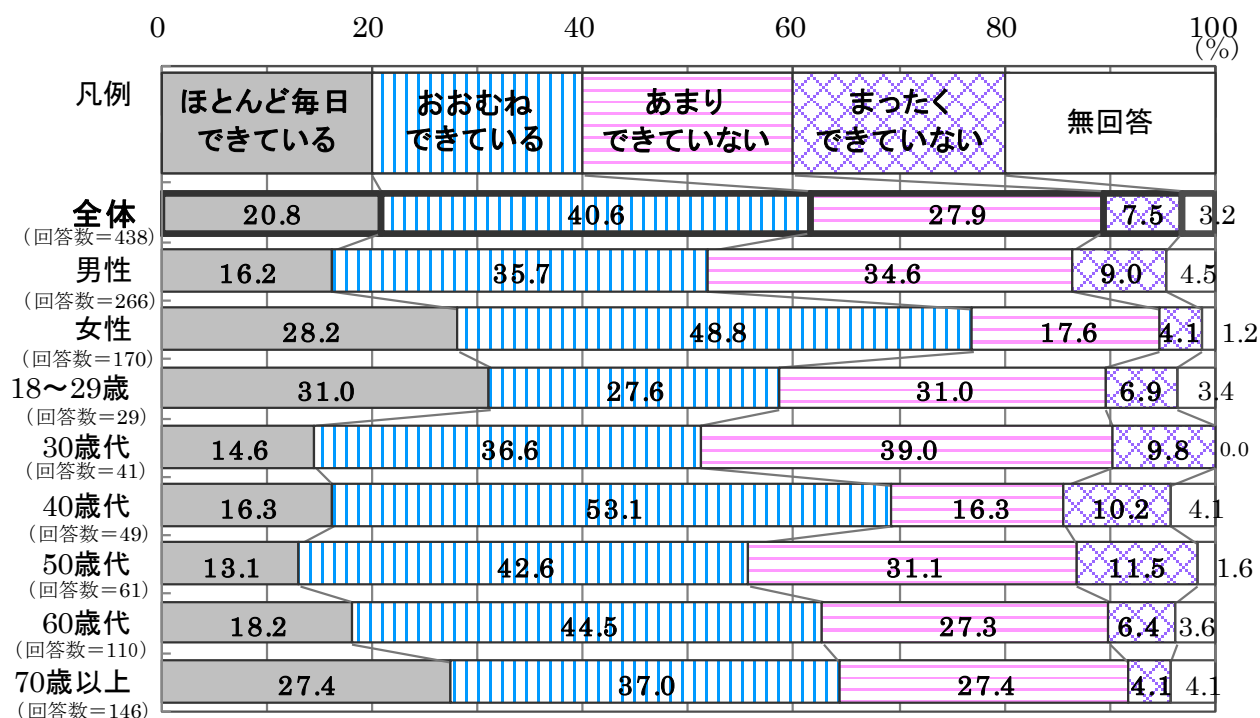
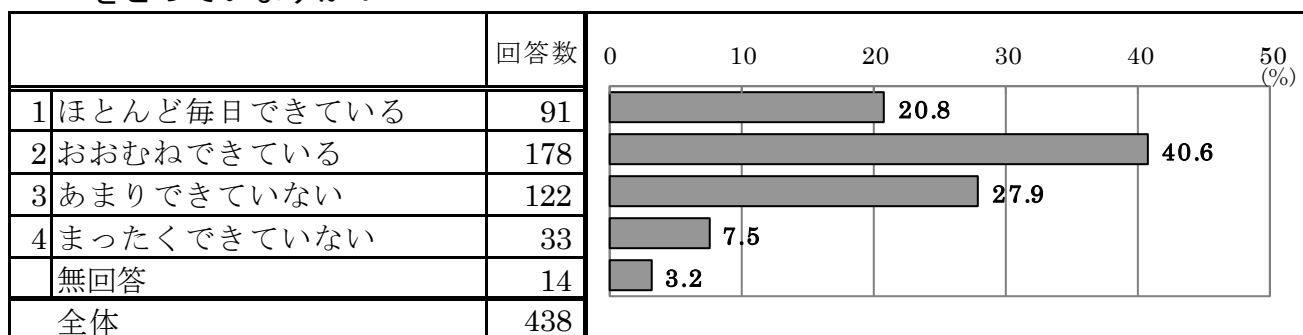
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	80 (%)
1 ほぼ毎日食べる	332	75.8									
2 週4～5日食べる	18	4.1									
3 週2～3日食べる	18	4.1									
4 ほとんど食べない	54	12.3									
無回答	16	3.7									
全体	438										



朝食は、「ほぼ毎日食べる」が75.8%と最も多くなっており、「ほとんど食べない」は12.3%となっている。

男女別にみると、「ほぼ毎日食べる」は『男性』が71.1%、『女性』が83.5%であり、「ほとんど食べない」は『男性』が13.9%、『女性』が9.4%となっている。

問7 食事のバランス摂取度 あなたは、主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとっていますか？

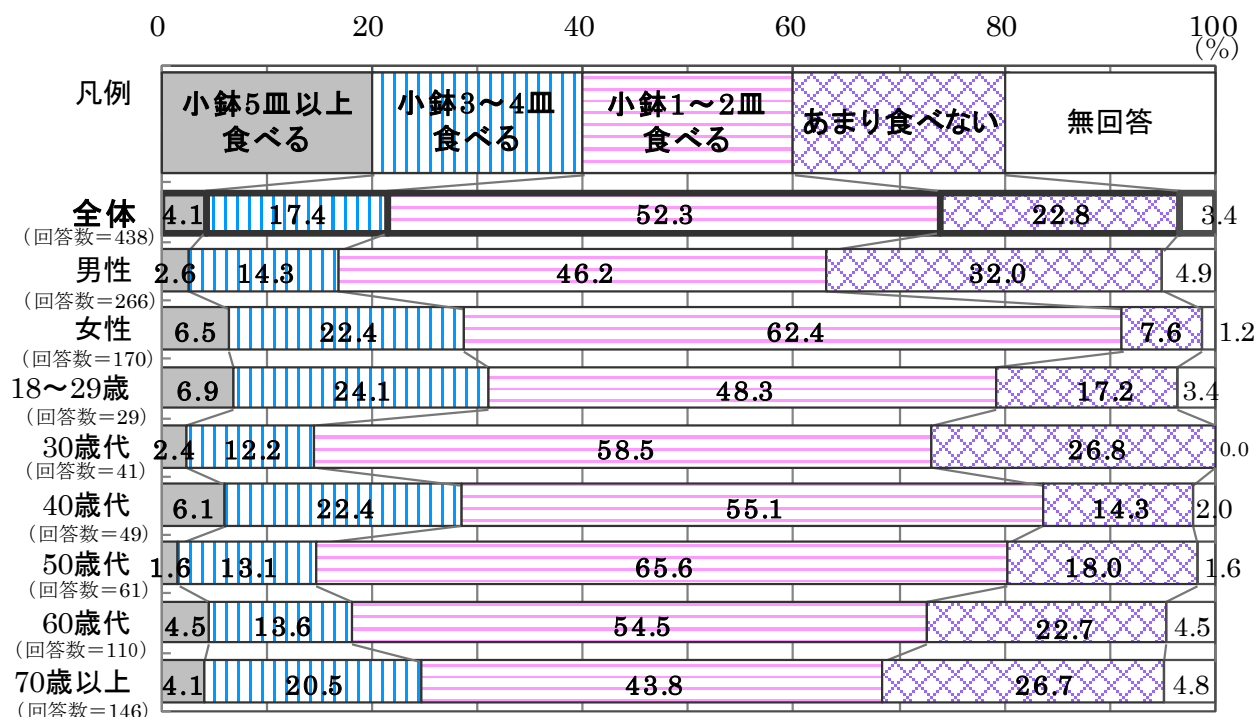
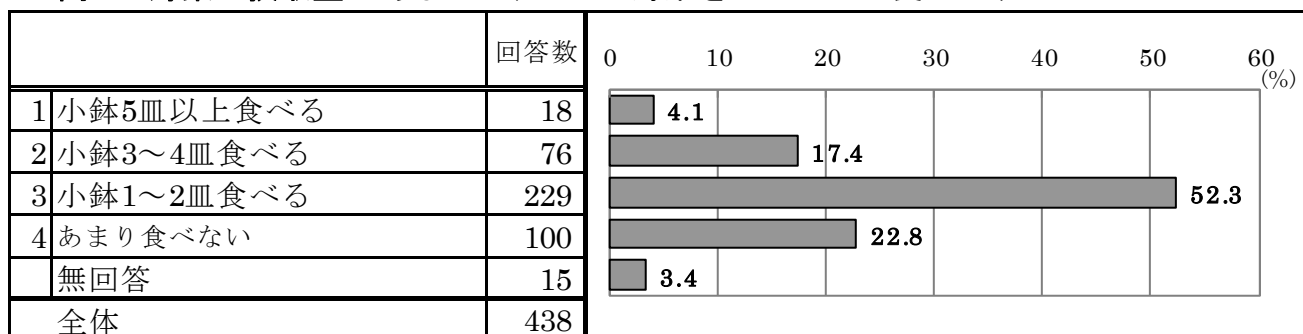


主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとっていることは、「おおむねできている」が40.6%と最も多く、「ほとんど毎日できている」が20.8%であり、合わせて“主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとることができる”人は61.4%となっている。

また、「あまりできていない」は27.9%、「まったくできていない」が7.5%であり、“主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとることができていない”人は35.4%となっている。

男女別にみると、“主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとることができる”のは『男性』が51.9%、『女性』が77.0%であり、“主食・主菜・副菜を基本に食事のバランスをとることができていない”のは『男性』が43.6%、『女性』が21.7%となっている。

問 8 野菜の摂取量 あなたは、1日に野菜をどれくらい食べますか？

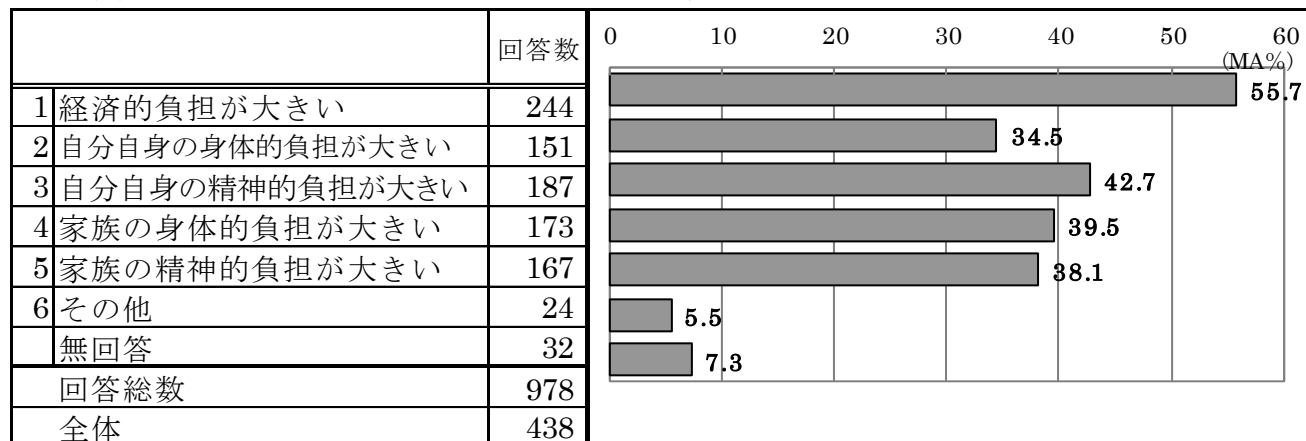


野菜の1日の摂取量は、「小鉢1～2皿食べる」が52.3%と最も多く、「あまり食べない」が22.8%、「小鉢3～4皿食べる」が17.4%となっている。

男女別にみると、「小鉢1～2皿食べる」は『男性』が46.2%、『女性』が62.4%であり、「あまり食べない」は『男性』が32.0%、『女性』が7.6%となっている。

3. 「在宅療養」に関して

問 9 医療と介護が必要な状態の在宅療養の不安 もしもあなたが医療と介護が必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、在宅療養にどんな不安があると思いますか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：一人暮らしであること（6）、わからない（5）、サービスを利用中（2）、病気の種類による、他人が家に入ること、他人に迷惑をかけたくない、家族の問題で療養に集中できないなど

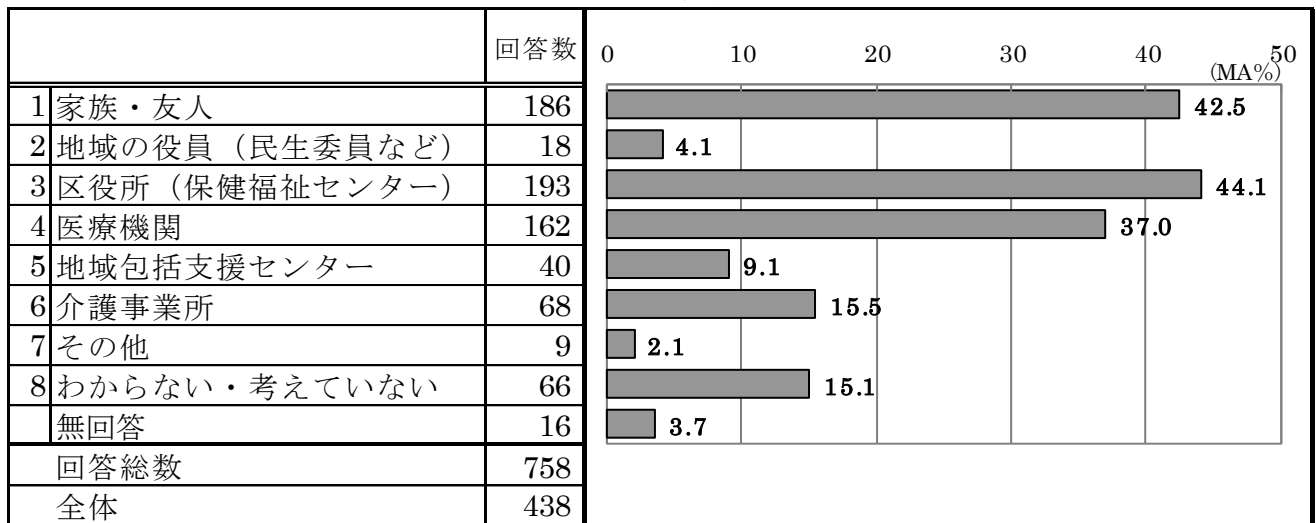
医療と介護が必要になった場合の在宅療養の不安（複数回答）は、「経済的負担が大きい」が 55.7%と最も多く、次いで「自分自身の精神的負担が大きい」が 42.7%、「家族の精神的負担が大きい」が 39.5%となっている。

【男女・年代別 在宅療養の不安（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全体 【回答数=438】	経済的負担が大きい 55.7%	自分自身の精神的負担が大きい 42.7%	家族の身体的負担が大きい 39.5%	家族の精神的負担が大きい 38.1%	自分自身の身体的負担が大きい 34.5%
男性 【回答数=266】	経済的負担が大きい 48.5%	自分自身の精神的負担が大きい 39.8%	自分自身の身体的負担が大きい 34.6%	家族の身体的負担が大きい／ 家族の精神的負担が大きい 29.3%	
女性 【回答数=170】	経済的負担が大きい 67.1%	家族の身体的負担が大きい 55.3%	家族の精神的負担が大きい 51.2%	自分自身の精神的負担が大きい 47.1%	自分自身の身体的負担が大きい 34.1%
18～29歳 【回答数=29】	家族の精神的負担が大きい 69.0%	経済的負担が大きい 62.1%	家族の身体的負担が大きい 44.8%	自分自身の精神的負担が大きい 34.5%	自分自身の身体的負担が大きい 13.8%
30歳代 【回答数=41】	経済的負担が大きい 85.4%	家族の身体的負担が大きい 75.6%	家族の精神的負担が大きい 70.7%	自分自身の精神的負担が大きい 46.3%	自分自身の身体的負担が大きい 24.4%
40歳代 【回答数=49】	経済的負担が大きい 75.5%	家族の精神的負担が大きい 67.3%	家族の身体的負担が大きい 59.2%	自分自身の精神的負担が大きい 55.1%	自分自身の身体的負担が大きい 40.8%
50歳代 【回答数=61】	経済的負担が大きい 72.1%	家族の身体的負担が大きい 50.8%	家族の精神的負担が大きい 49.2%	自分自身の精神的負担が大きい 32.8%	自分自身の身体的負担が大きい 31.1%
60歳代 【回答数=110】	経済的負担が大きい 47.3%	自分自身の精神的負担が大きい 43.6%	自分自身の身体的負担が大きい 40.9%	家族の身体的負担が大きい 30.0%	家族の精神的負担が大きい 25.5%
70歳以上 【回答数=146】	自分自身の精神的負担が大きい 42.5%	経済的負担が大きい 39.0%	自分自身の身体的負担が大きい 35.6%	家族の身体的負担が大きい 24.0%	家族の精神的負担が大きい 17.1%

男女別にみると、男女とも「経済的負担が大きい」が最も多く、次いで『男性』は「自分自身の精神的負担が大きい」「自分自身の身体的負担が大きい」となっている。『女性』は第2位が「家族の身体的負担が大きい」であり、第3位は「家族の精神的負担が大きい」となっている。

問 10 医療や介護サービスの相談相手 あなたは、医療や介護サービスについて相談が必要な時はどこに相談しますか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：ヘルパー・ケアマネ（2）、会社、アパートの管理人、ハンセン病回復センター、NPO など

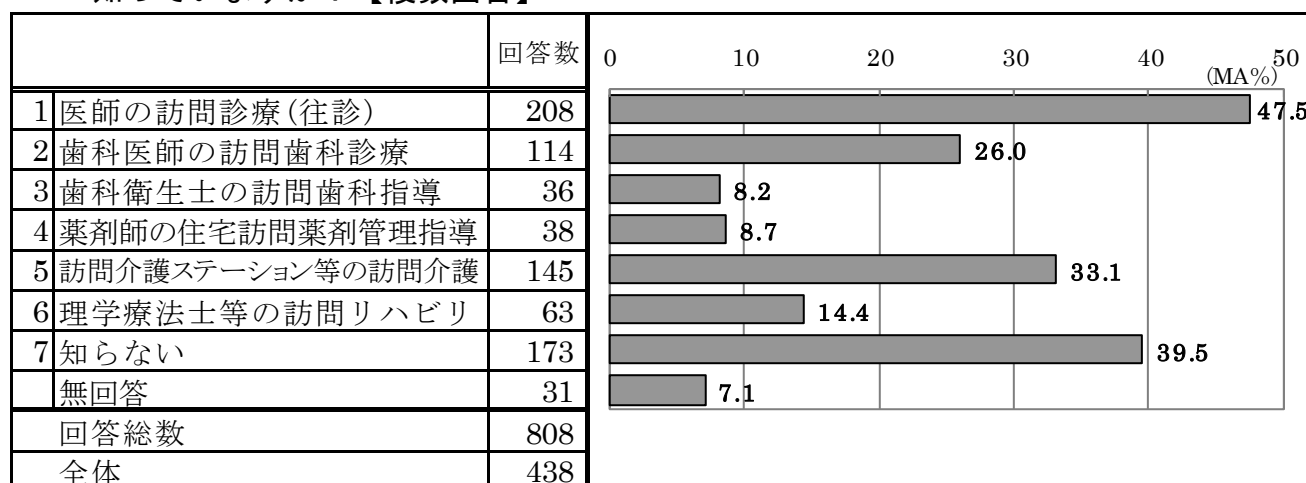
医療や介護サービスについての相談相手（複数回答）は、「区役所（保健福祉センター）」が44.1%と最も多く、次いで「家族・友人」が42.5%、「医療機関」が37.0%となっている。

【男女・年代別 医療や介護サービスの相談相手（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=438】	区役所(保健福祉センター) 44.1%	家族・友人 42.5%	医療機関 37.0%	介護事業所 15.5%	わからない・考えていない 15.1%
男性 【回答数=266】	区役所(保健福祉センター) 47.4%	家族・友人 34.6%	医療機関 33.8%	介護事業所 15.8%	わからない・考えていない 14.7%
女性 【回答数=170】	家族・友人 54.7%	医療機関 42.4%	区役所(保健福祉センター) 39.4%	介護事業所／ わからない・考えていない 15.3%	
18～29歳 【回答数=29】	家族・友人 75.9%	医療機関 55.2%	区役所(保健福祉センター) 20.7%	地域包括支援センター／介護事業所／ わからない・考えていない 6.9%	
30歳代 【回答数=41】	家族・友人 75.6%	医療機関 41.5%	区役所(保健福祉センター) 34.1%	わからない・考えていない 26.8%	介護事業所 9.8%
40歳代 【回答数=51】	家族・友人 55.1%	区役所(保健福祉センター) 44.9%	医療機関 26.5%	介護事業所／ わからない・考えていない 18.4%	
50歳代 【回答数=64】	区役所(保健福祉センター) 50.8%	家族・友人 45.9%	医療機関 44.3%	介護事業所 16.4%	わからない・考えていない 13.1%
60歳代 【回答数=94】	区役所(保健福祉センター) 54.5%	医療機関 36.4%	家族・友人 34.5%	わからない・考えていない 13.6%	介護事業所 12.7%
70歳以上 【回答数=130】	区役所(保健福祉センター) 41.1%	医療機関 33.6%	家族・友人 26.7%	介護事業所 19.9%	わからない・考えていない 13.7%

男女別にみると、『男性』は「区役所（保健福祉センター）」が最も多く、次いで「家族・友人」「医療機関」となっている。『女性』は「家族・友人」が最も多く、次いで「医療機関」「区役所（保健福祉センター）」となっている。

問 11 在宅医療サービスの認知度 あなたは、在宅医療を支えるサービスについて
知っていますか？【複数回答】



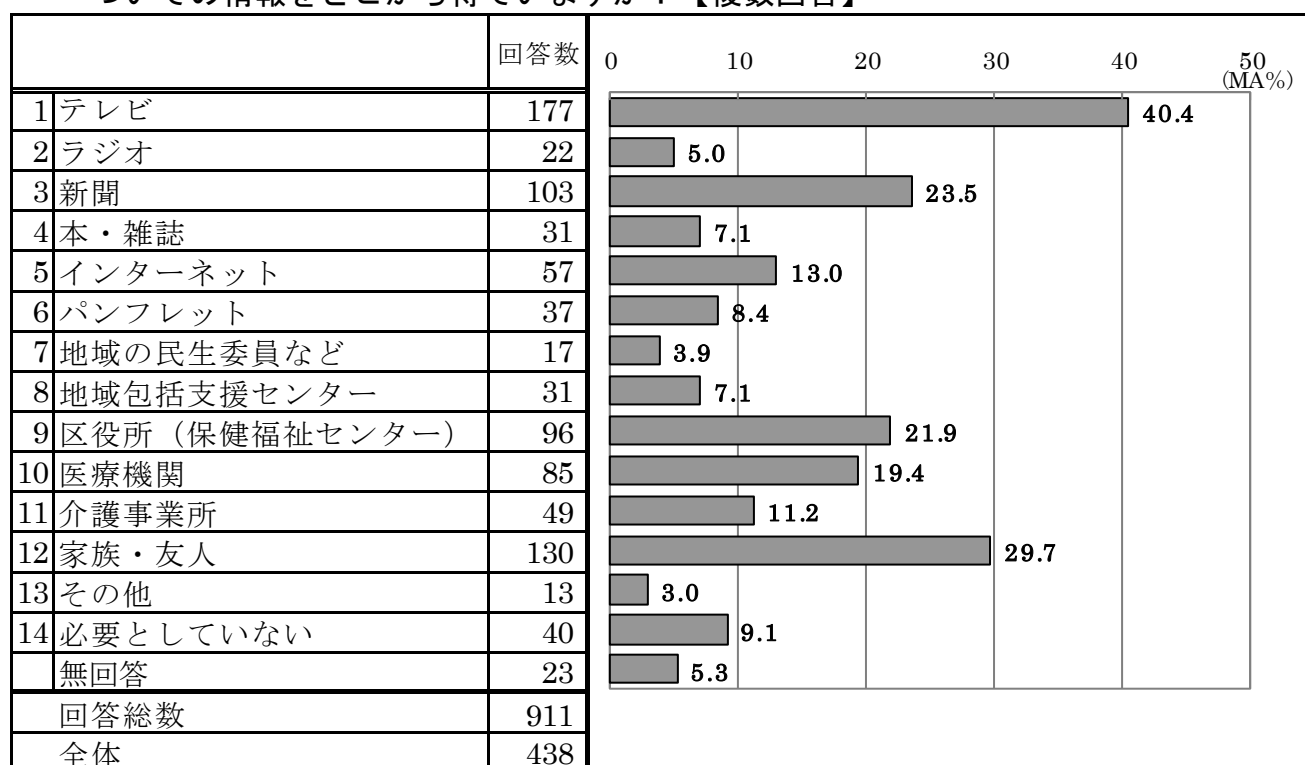
在宅医療を支えるサービスの認知度（複数回答）は、「医師の訪問診療（往診）」が 47.5%と最も多く、次いで「知らない」が 39.5%、「訪問介護ステーション等の訪問介護」が 33.1%となっている。

【男女・年代別 在宅医療サービスの認知度（上位 5 位）】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体 【回答数=438】	医師の訪問診療(往診)47.5%	知らない 39.5%	訪問介護 33.1%	訪問歯科指導 26.0%	訪問リハビリテーション 14.4%
男性 【回答数=266】	知らない 48.9%	医師の訪問診療(往診)35.0%	訪問介護 24.8%	訪問歯科指導 15.8%	訪問リハビリテーション 7.9%
女性 【回答数=170】	医師の訪問診療(往診)67.1%	訪問介護 46.5%	訪問歯科指導 42.4%	訪問リハビリテーション/ 知らない	24.7%
18～29 歳 【回答数=29】	医師の訪問診療(往診)58.6%	知らない 37.9%	訪問歯科指導/ 訪問介護	31.0%	訪問リハビリテーション 24.1%
30 歳代 【回答数=41】	医師の訪問診療(往診)51.2%	知らない 41.5%	訪問歯科指導 29.3%	訪問介護 24.4%	訪問リハビリテーション 14.6%
40 歳代 【回答数=49】	医師の訪問診療(往診)55.1%	訪問介護 44.9%	知らない 40.8%	訪問歯科指導 30.6%	訪問リハビリテーション 14.3%
50 歳代 【回答数=61】	医師の訪問診療(往診)55.7%	訪問介護 41.0%	訪問歯科指導 32.8%	知らない 31.1%	訪問リハビリテーション 21.3%
60 歳代 【回答数=110】	知らない 42.7%	医師の訪問診療(往診)40.9%	訪問介護 33.6%	訪問歯科指導 21.8%	訪問リハビリテーション 13.6%
70 歳以上 【回答数=146】	医師の訪問診療(往診)43.2%	知らない 39.7%	訪問介護 28.8%	訪問歯科指導 23.3%	訪問リハビリテーション 10.3%

男女別にみると、『男性』は「知らない」が最も多く、次いで「医師の訪問診療（往診）」「訪問介護ステーション等の訪問介護」となっている。『女性』は「医師の訪問診療（往診）」が最も多く、次いで「訪問介護ステーション等の訪問介護」「歯科衛生士の訪問歯科指導」となっている。

問 12 医療や介護サービスなどの情報の入手先 あなたは、医療や介護サービスについての情報をどこから得ていますか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：仕事を通じて (2)、健康保険組合 (2)、アパートの管理人 (2)、わからない (2)、家族がサービス利用中 など

医療や介護サービスの情報の入手先（複数回答）は、「テレビ」が 40.4%と最も多く、次いで「家族・友人」が 29.7%、「新聞」が 23.5%となっている。

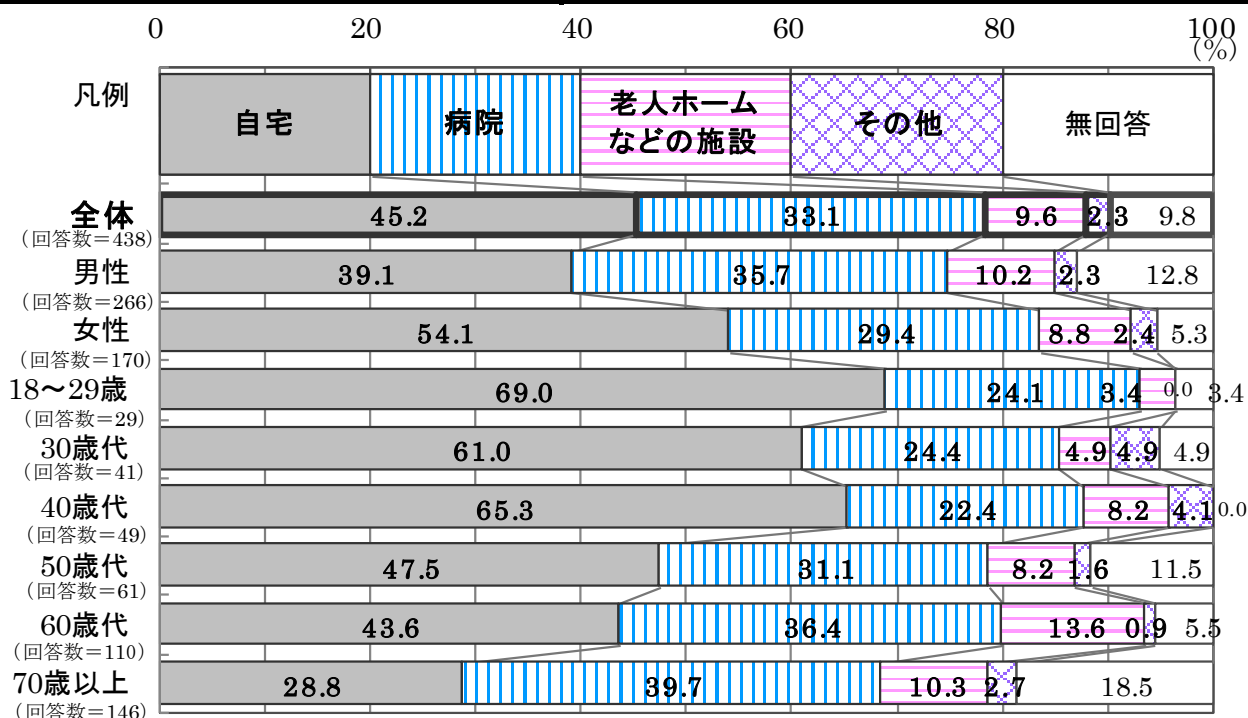
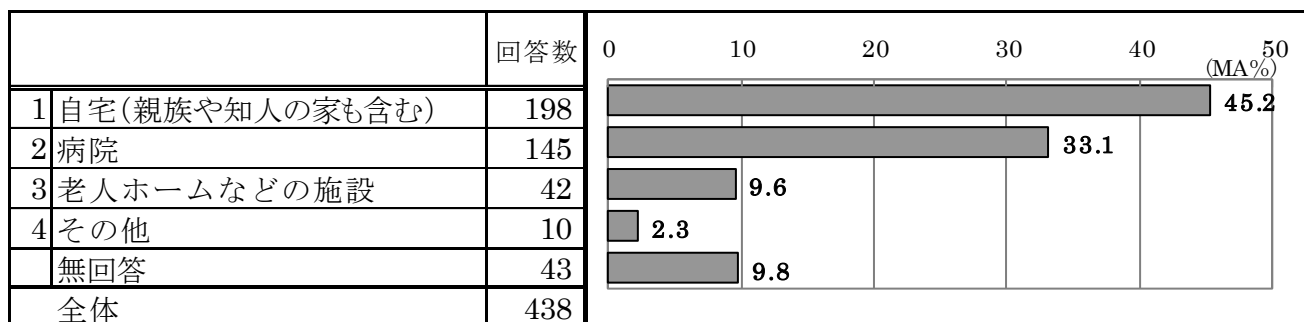
【男女・年代別 医療や介護サービスなどの情報入手先（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=438】	テレビ 40.4%	家族・友人 29.7%	新聞 23.5%	区役所 21.9%	医療機関 19.4%
男性 【回答数=266】	テレビ 38.7%	区役所 24.8%	新聞／ 家族・友人 22.6%		医療機関 16.9%
女性 【回答数=170】	テレビ 43.5%	家族・友人 41.2%	新聞 25.3%	医療機関 23.5%	区役所 17.6%
18～29 歳 【回答数=29】	テレビ 55.2%	家族・友人 44.8%	インターネット 37.9%	新聞 17.2%	本・雑誌／医療 機関 13.8%
30 歳代 【回答数=41】	テレビ 43.9%	家族・友人 31.7%	インターネット 26.8%	医療機関 19.5%	新聞 14.6%
40 歳代 【回答数=49】	テレビ 42.9%	インターネット／ 家族・友人 32.7%		新聞 16.3%	本・雑誌／医療 機関／必要として いない 10.2%
50 歳代 【回答数=61】	テレビ 39.3%	家族・友人 31.1%	インターネット 21.3%	区役所／ 医療機関 19.7%	
60 歳代 【回答数=110】	テレビ 45.5%	新聞 31.8%	家族・友人 29.1%	区役所 28.2%	医療機関 26.4%
70 歳以上 【回答数=146】	テレビ 32.9%	区役所 28.1%	新聞 26.0%	家族・友人 25.3%	医療機関／介護 事業所 18.5%

男女別にみると、男女とも「テレビ」が最も多く、次いで『男性』は「区役所（保健福祉センター）」であり、第3位は「新聞」「家族・友人」となっている。

『女性』は第2位が「家族・友人」、第3位が「新聞」となっている。

問 13 医療と介護が必要な場合の希望する生活の場 もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？



※「その他」の主な内容：わからない(4)、民間施設、ホスピス など

医療と介護が同時に必要となった場合の生活の場は、「自宅（親族や知人の家も含む）」が45.2%と最も多く、次いで「病院」が33.1%、「老人ホームなどの施設」が9.6%となっている。

男女別にみると、男女とも「自宅」が最も多く、次いで「病院」「老人ホームなどの施設」「その他」となっている。「自宅」は『女性』が『男性』よりも15.0ポイント多くなっており、「病院」は『男性』が『女性』よりも6.3ポイント多くなっている。

問 13-1 自宅を選んだ理由 なぜ、自宅で暮らしたいと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



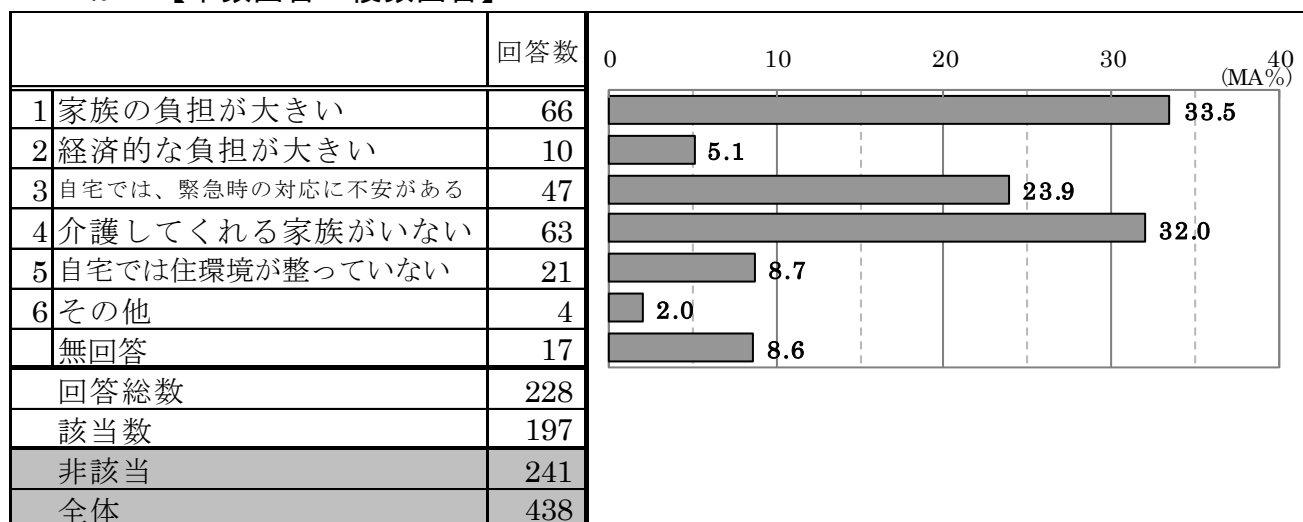
※単数回答：1=68、2=43、3=31、4=2、5=23、6=1

※複数回答：1・2=7、1・2・3=7、1・2・3・5=4、1・2・5=4、1・2・6=1、1・3=2、1・3・5=4、1・5=1、2・3=1、2・5=2、2・6=1、3・5・6=1

※「その他」の主な内容：子どもの成長を見ていたい、家族の身体的負担が大きくなる など

医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅を選んだ理由（複数回答）は、「住み慣れた場所で過ごしたい」が49.5%と最も多く、次いで「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が35.4%、「家族との時間を多く過ごしたい」が24.7%となっている。

問 13-2 自宅以外を選んだ理由 なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



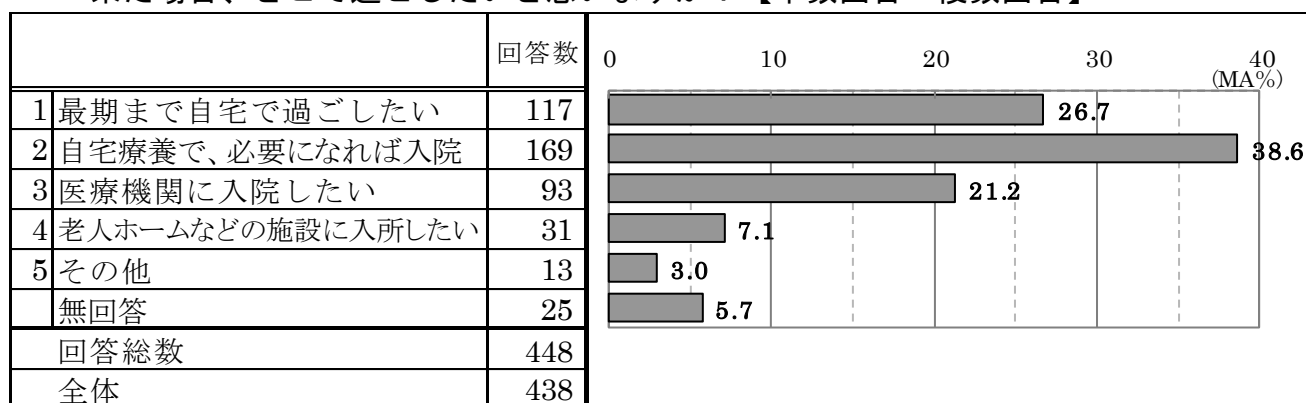
※単数回答：1=49、2=8、3=31、4=57、5=9、6=3

※複数回答：1・2=1、1・2・3・5=1、1・3=7、1・3・4・5=1、1・3・5=2、1・4=1、1・5=4、1・5=1、3・4=2、3・4・5=1、3・5=2、4・5・6=1

※「その他」の主な内容：家族の負担が増えるから、犬や猫がいる、病院が好き など

医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅以外の場所を選んだ理由（複数回答）は、「家族の負担が大きい」が33.5%と最も多く、次いで「介護してくれる家族がいない」が32.0%、「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が23.9%となっている。

問 14 人生の最期を過ごしたい場所 あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=111、2=158、3=88、4=29、5=11

※複数回答：1・2=6、2・3=2、3・4=1、4・5=1

※「その他」の主な内容：考えない(4)、ホスピス(2)、どこでも良い、思い出の場所 など

人生の最期を過ごしたい場所(複数回答)は、「在宅療養で、必要になれば入院」が38.6%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が26.7%、「医療機関に入院したい」が21.2%となっている。

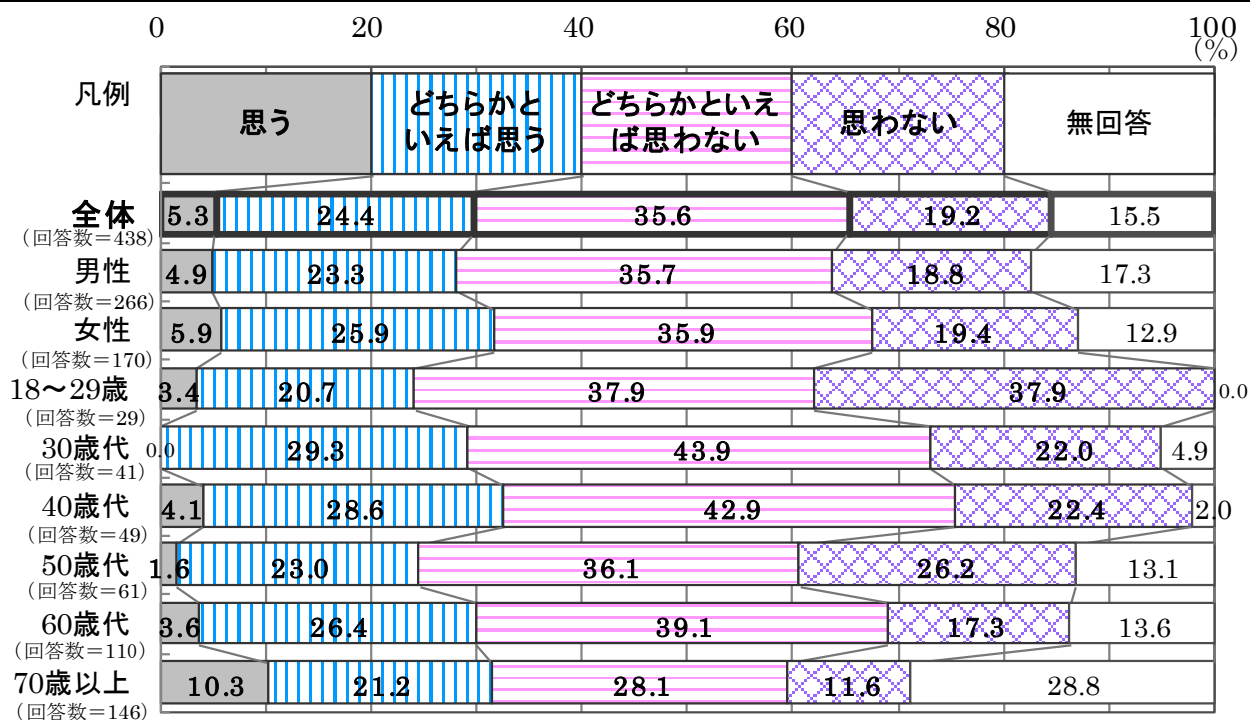
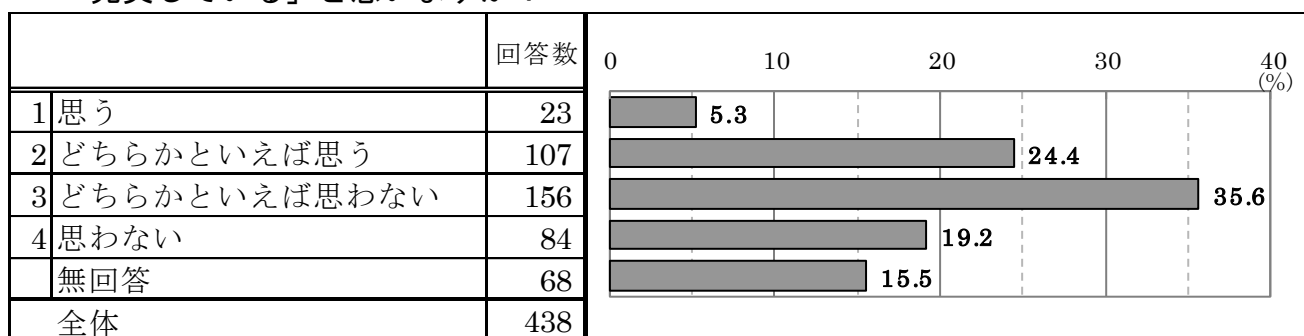
【男女・年代別 人生の最後を過ごしたい場所】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=438】	在宅療養で、必要になれば入院 38.6%	最期まで自宅で過ごしたい 26.7%	医療機関に入院したい 21.2%	老人ホームなどに入所したい 7.1%	その他 3.0%
男性 【回答数=266】	在宅療養で、必要になれば入院 35.3%	最期まで自宅で過ごしたい 24.4%	医療機関に入院したい 21.4%	老人ホームなどに入所したい 8.3%	その他 3.8%
女性 【回答数=170】	在宅療養で、必要になれば入院 43.5%	最期まで自宅で過ごしたい 30.0%	医療機関に入院したい 20.6%	老人ホームなどに入所したい 5.3%	その他 1.8%
18～29歳 【回答数=29】	在宅療養で、必要になれば入院 48.3%	最期まで自宅で過ごしたい 44.8%	その他 6.9%	医療機関に入院したい 3.4%	
30歳代 【回答数=41】	在宅療養で、必要になれば入院 48.8%	最期まで自宅で過ごしたい 34.1%	医療機関に入院したい 12.2%	その他 2.4%	
40歳代 【回答数=49】	在宅療養で、必要になれば入院 53.1%	最期まで自宅で過ごしたい 34.7%	医療機関に入院したい 8.2%	老人ホームなどに入所したい 4.1%	その他 2.4%
50歳代 【回答数=61】	在宅療養で、必要になれば入院 44.3%	最期まで自宅で過ごしたい 23.0%	医療機関に入院したい 18.0%	老人ホームなどに入所したい／その他 4.9%	
60歳代 【回答数=110】	在宅療養で、必要になれば入院 35.5%	最期まで自宅で過ごしたい 25.5%	医療機関に入院したい 23.6%	老人ホームなどに入所したい 10.0%	その他 1.8%
70歳以上 【回答数=146】	医療機関に入院したい 30.8%	在宅療養で、必要になれば入院 28.8%	最期まで自宅で過ごしたい 20.5%	老人ホームなどに入所したい 10.3%	その他 2.7%

男女別にみると、男女とも「在宅療養で、必要になれば入院したい」が最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」「医療機関に入院したい」となっている。

4. 「子育て・教育」「福祉」に関して

問 15 子育て環境の充実度 あなたは、西成区は「安心して子育てができる環境が充実している」と思いますか？

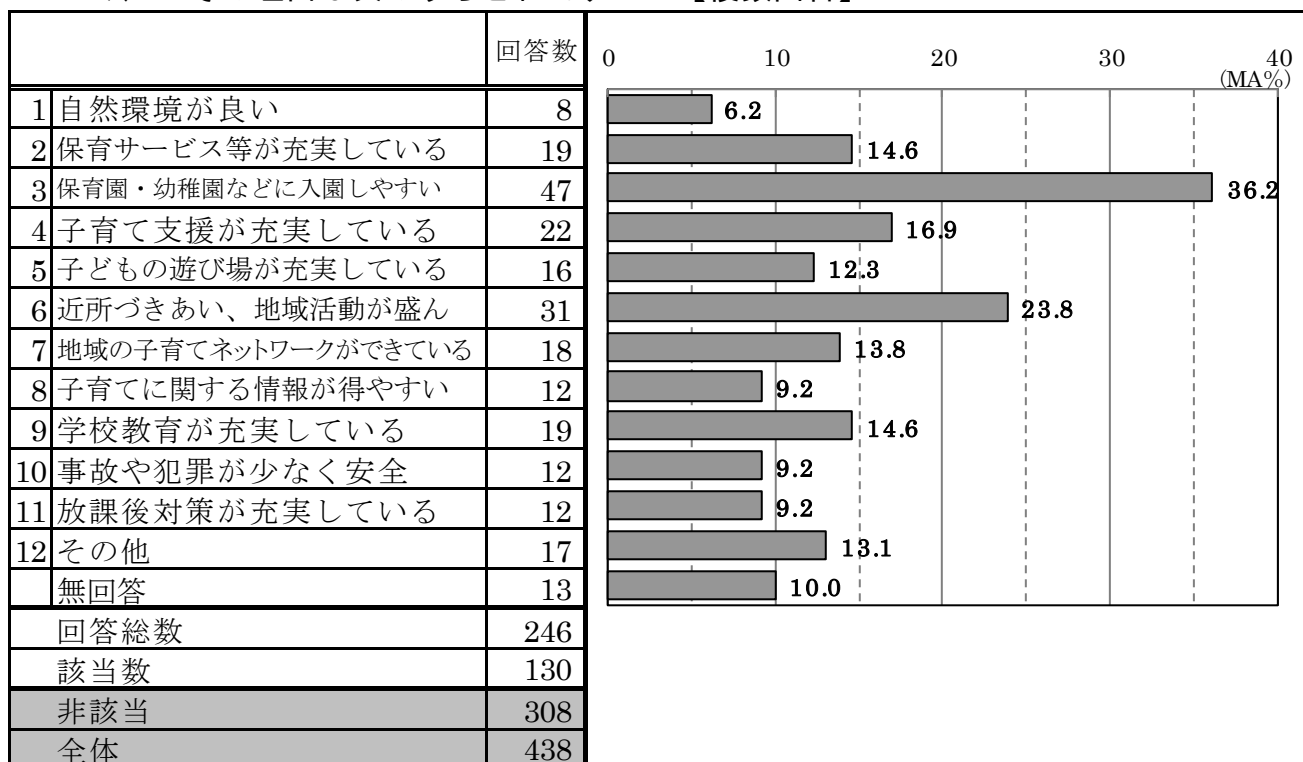


安心して子育てができる環境が充実していることについては、「どちらかといえば思わない」が35.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が24.4%となっている。

「思う」(5.3%)と「どちらかといえば思う」(24.4%)を合わせて“安心して子育てができる環境が充実していると思う”人は29.7%となっている。また、「思わない」(19.2%)と「どちらかといえば思わない」(35.6%)を合わせて“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”人は54.8%となっている。

男女別にみると、“安心して子育てができる環境が充実していると思う”のは、『男性』が28.2%、『女性』が31.8%となっており、“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”のは、『男性』が54.5%、『女性』が55.3%となっている。

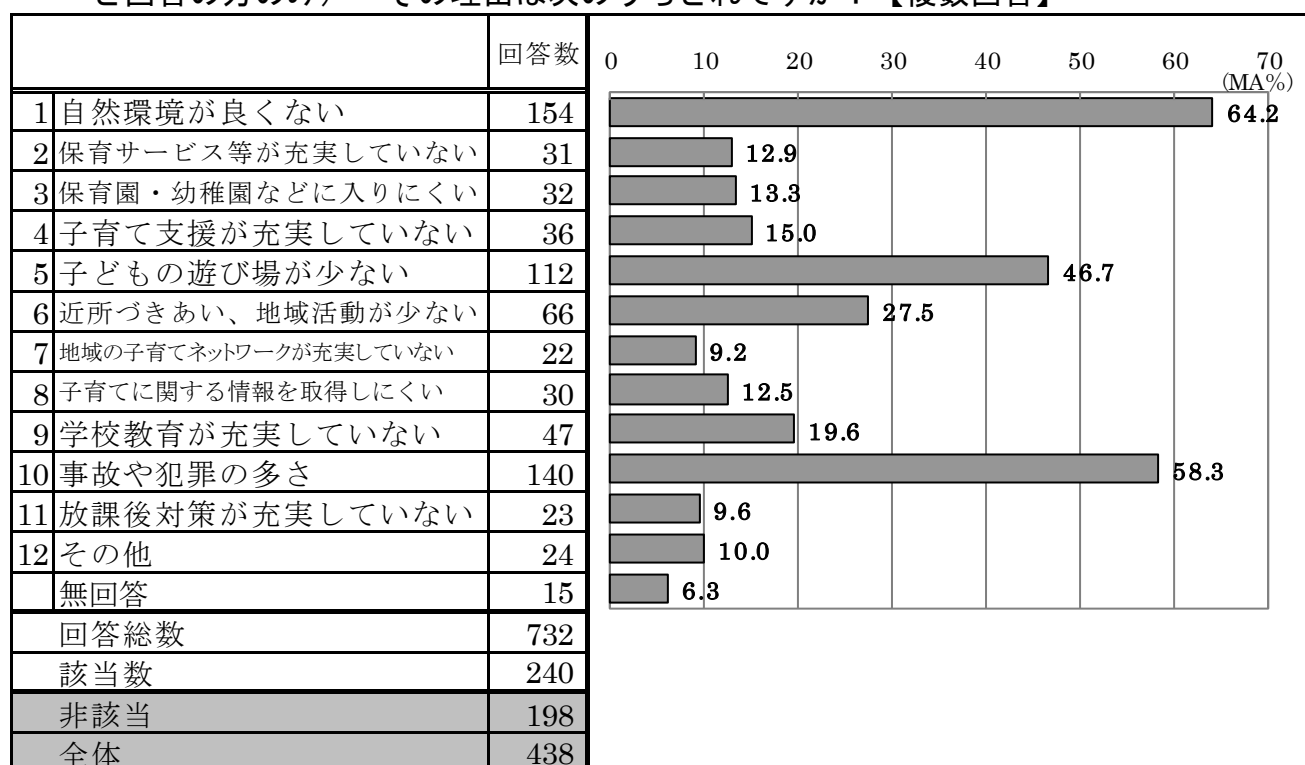
問 15-1 「思う」理由 (問 15 で「思う」「どちらかといえば思う」と回答の方のみ) その理由は次のうちどれですか?【複数回答】



※「その他」の主な内容：不安や困っていることはない(4)、子どもがいないから(3)、区役所のサービスがよい(2)、生活がしやすい(2)、実家が近い など

“安心して子育てができる環境が充実していると思う”人の理由(複数回答)は、「保育園・幼稚園などに入園しやすい」が36.2%と最も多く、次いで「近所づきあい、地域活動が盛ん」が23.8%、「子育て支援が充実している」が16.9%となっている。

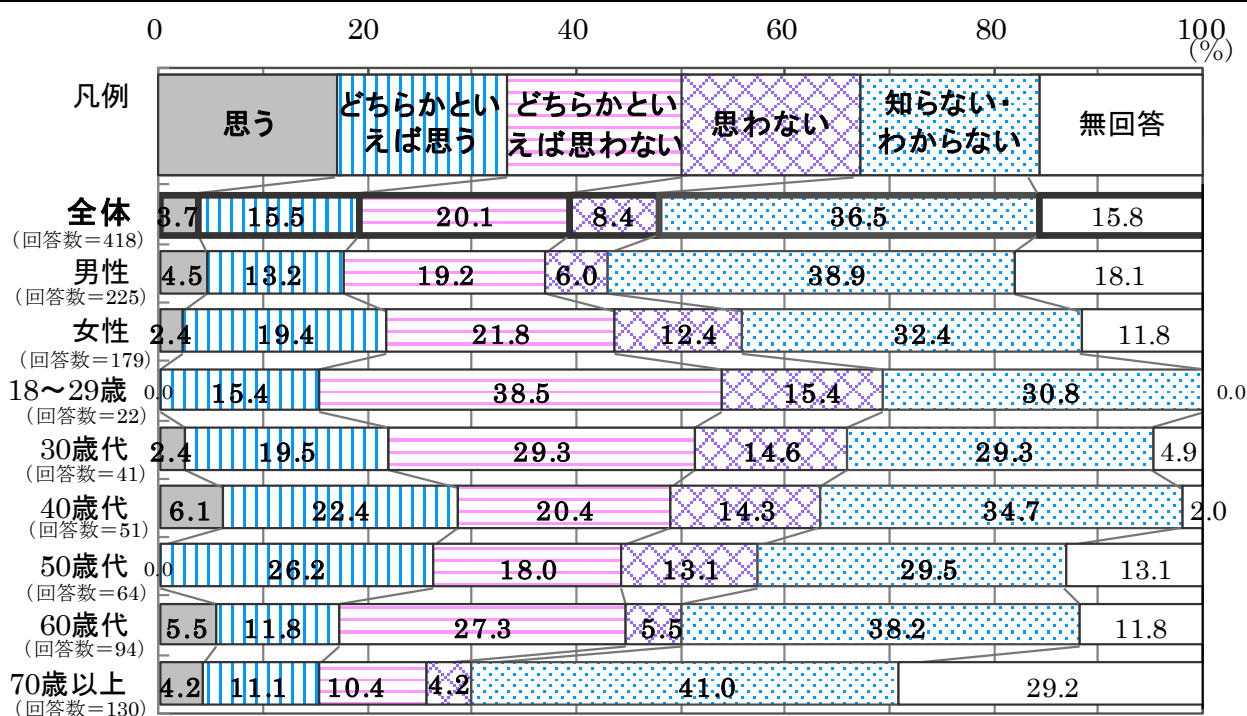
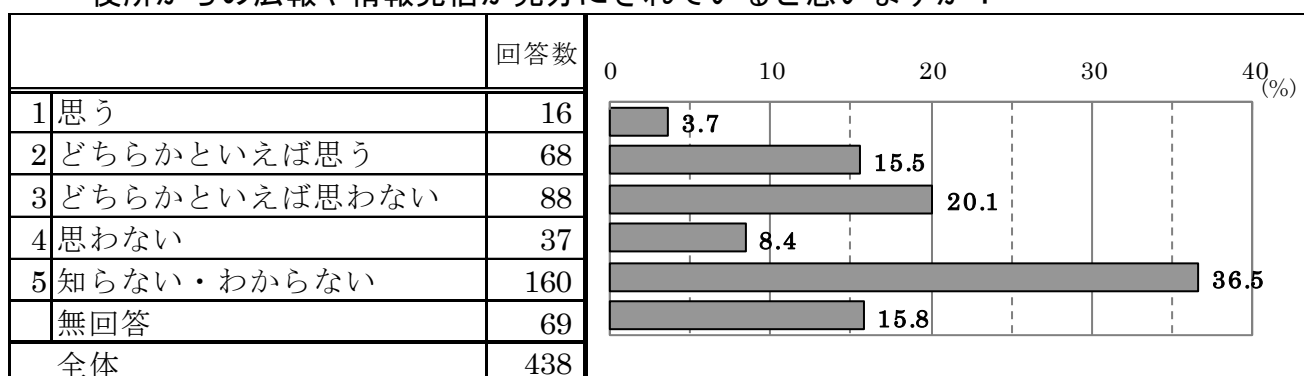
問 15-2 「思わない」理由 (問 15 で「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答の方のみ) その理由は次のうちどれですか?【複数回答】



※「その他」の主な内容：子どもがいないから (6)、イメージが悪い (4)、危険が多く不安 (2)、まちが汚い (2)、昼から飲酒している人がいる (2)、不審な人がいる (2)、公園で遊びにくい など

“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”人の理由(複数回答)は、「自然環境が良くない」が 64.2%と最も多く、次いで「事故や犯罪の多さ」が 58.3%、「子どもの遊び場が少ない」が 46.7%となっている。

問 16 子育てに関する区役所情報の提供状況 あなたは子ども・子育てに関する区役所からの広報や情報発信が十分にされていると思いますか？

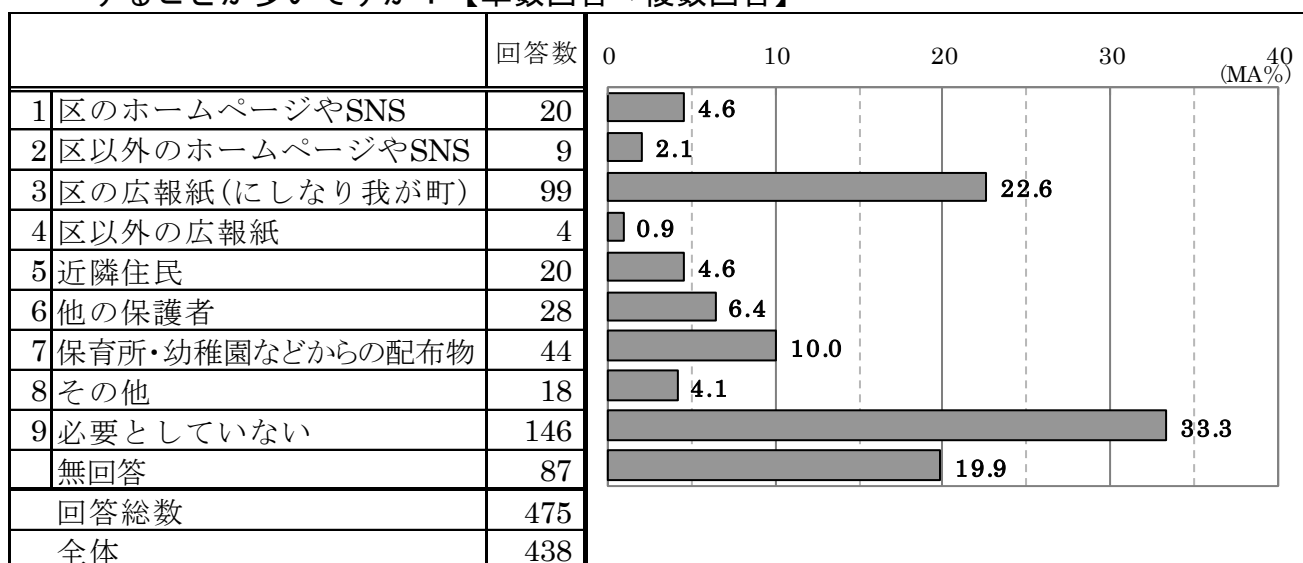


子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていることについては、「知らない・わからない」が 36.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」が 20.1%、「どちらかといえば思う」が 15.5%となっている。

「思う」(3.7%)と「どちらかといえば思う」(15.5%)を合わせた“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていると思う”人は 19.2%となっている。また、「どちらかといえば思わない」(20.1%)と「思わない」(8.4%)を合わせた“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされているとは思わない”人は 28.5%となっている。

男女別にみると、“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていると思う”のは、『男性』が 17.7%、『女性』が 21.8%となっており、“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされているとは思わない”のは、『男性』が 25.2%、『女性』が 34.2%となっている。

問 17 子育て情報の入手先 あなたは子ども・子育てに関する情報をどこから入手することが多いですか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=14、2=6、3=81、4=1、5=13、6=15、7=30、8=14、9=146

※複数回答：1・2=1、1・2・3・4=1、1・3=1、1・5=1、1・5・6・7=1、1・6=1、2・3・8=1、3・4=2、3・5=1、3・6=4、3・7=5、3・8=2、3・6・7=1、5・6=1、5・7=2、5・8=1、6・7=5

※「その他」の主な内容：わからない(4)、親(3)、テレビ(3)、新聞、タウン誌、友人 など

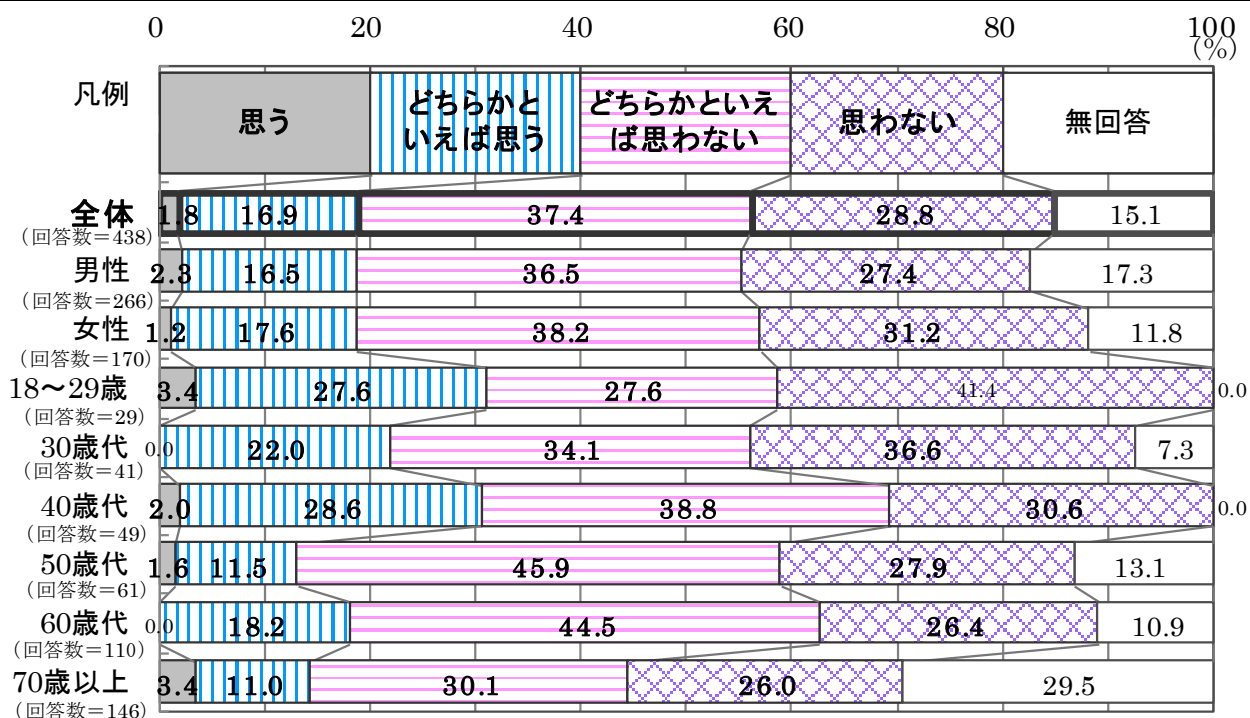
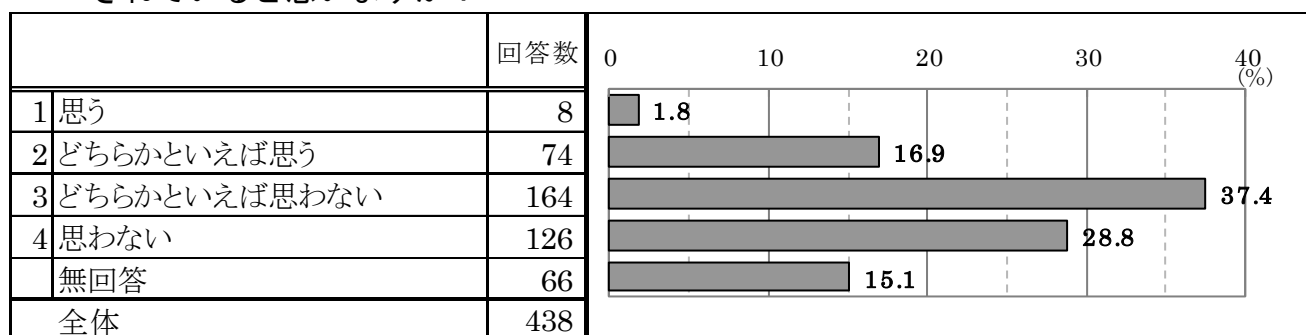
子ども・子育てに関する情報の入手先(複数回答)は、「必要としていない」が33.3%と最も多く、次いで「区の広報紙(にしなり我が町)」が22.6%、「保育所・幼稚園などからの配布物」が10.0%となっている。

【男女・年代別 子育て情報の入手先(上位5位)】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=438】	必要としていない 33.3%	区の広報紙 22.6%	保育所等からの配布物 10.0%	他の保護者 6.4%	区のホームページ等/近隣住民 4.6%
男性 【回答数=266】	必要としていない 35.7%	区の広報紙 19.5%	区のホームページ等/ 保育所等からの配布物 6.0%	近隣住民 5.3%	
女性 【回答数=170】	必要としていない 29.4%	区の広報紙 27.6%	保育所等からの配布物 16.5%	他の保護者 9.4%	その他 6.5%
18~29歳 【回答数=29】	必要としていない 34.5%	区の広報紙/ 近隣住民 13.8%	他の保護者/ 保育所等からの配布物 10.3%		
30歳代 【回答数=41】	保育所等からの配布物 34.1%	必要としていない 26.8%	区の広報紙 19.5%	他の保護者 12.2%	区のホームページ等 9.8%
40歳代 【回答数=49】	必要としていない 32.7%	保育所等からの配布物 20.4%	区の広報紙 16.3%	他の保護者 14.3%	その他 10.2%
50歳代 【回答数=61】	必要としていない 37.7%	区の広報紙 31.1%	保育所等からの配布物 13.1%	他の保護者 6.6%	区のホームページ等/近隣住民 3.3%
60歳代 【回答数=110】	必要としていない 38.2%	区の広報紙 28.2%	他の保護者/保育所等からの配布物/ その他 4.5%		
70歳以上 【回答数=146】	必要としていない 29.5%	区の広報紙 19.9%	その他 3.4%	区のホームページ等/ 近隣住民/他の保護者/ 保育所等からの配布物 2.7%	

男女別にみると、男女とも「必要としていない」が最も多く、第2位は「区の広報紙(にしなり我が町)」となっている。

問 18 子どもの遊び場の確保状況 あなたは、地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思いますか？

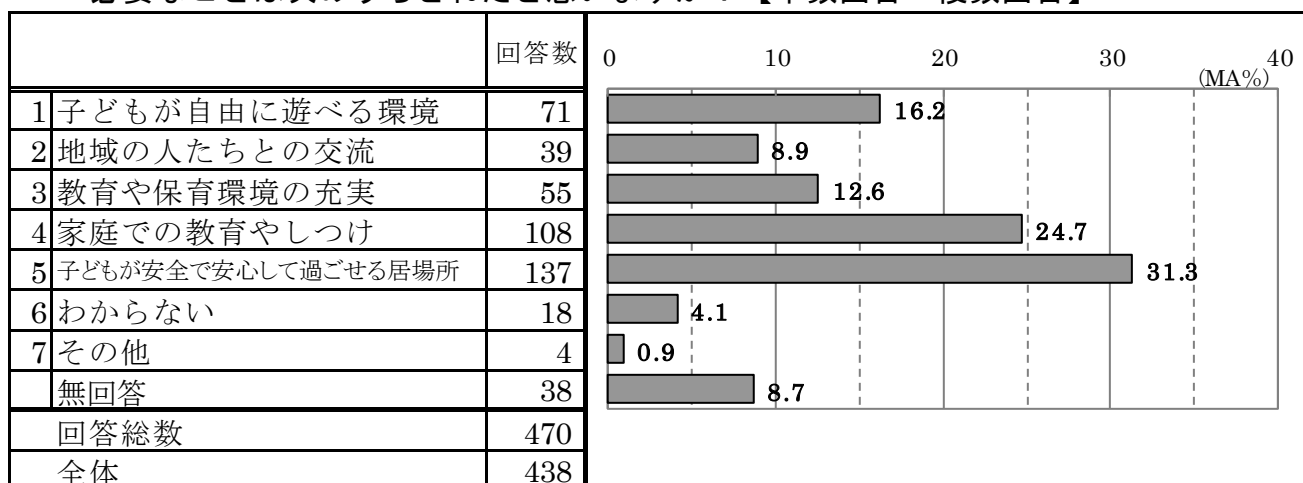


地域の子どもの遊び場が十分に確保されていることについては、「どちらかといえば思わない」が37.4%と最も多く、次いで「思わない」が28.8%となっており、合わせて“地域の子どもの遊び場が十分に確保されているとは思わない”人が66.2%となっている。

また、「思う」(1.8%)と「どちらかといえば思う」(16.9%)を合わせた“地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思う”人は18.7%となっている。

男女別にみると、“地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思う”のは、『男性』が18.8%、『女性』が18.8%となっている。

問 19 健全育成に必要なこと あなたは、子どもたちを健やかに育てるために最も必要なことは次のうちどれだと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=57、2=33、3=48、4=96、5=120、6=18、7=4

※複数回答：1・2・4=1、1・2・5=3、1・3=1、1・3・4・5=1、1・4=1、1・4・5=1、1・5=6、2・4=1、2・4・5=1、3・4=3、3・5=2、4・5=3

※「その他」の主な内容：お金、学力主義をやめること など

子どもたちを健やかに育てるために必要なこと（複数回答）は、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が31.3%と最も多く、次いで「家庭での教育やしつけ」が24.7%、「子どもが自由に遊べる環境」が16.2%となっている。

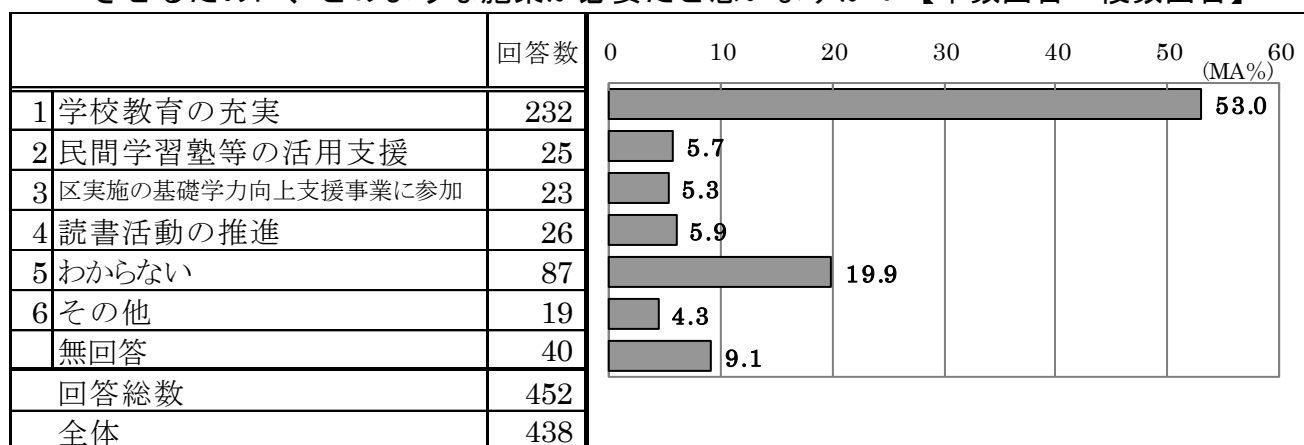
Ⅱ 調査の結果／4. 「子育て・教育」「福祉」に関して

【男女・年代別 健全育成に必要なこと（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全体 【回答数=438】	安全で安心して 過ごせる居場所 31.3%	家庭での教育 やしつけ 24.7%	子どもが自由に 遊べる環境 16.2%	教育や保育環 境の充実 12.6%	地域の人たち との交流 8.9%
男性 【回答数=266】	安全で安心して 過ごせる居場所 28.2%	家庭での教育 やしつけ 22.9%	子どもが自由に 遊べる環境 18.4%	教育や保育環 境の充実 12.4%	地域の人たち との交流 8.6%
女性 【回答数=170】	安全で安心して 過ごせる居場所 35.9%	家庭での教育 やしつけ 27.1%	教育や保育環 境の充実 12.9%	子どもが自由に 遊べる環境 12.4%	地域の人たち との交流 9.4%
18～29歳 【回答数=29】	安全で安心して 過ごせる居場所 44.8%	子どもが自由に 遊べる環境 27.6%	家庭での教育 やしつけ 17.2%	教育や保育環 境の充実 13.8%	地域の人たち との交流 6.9%
30歳代 【回答数=41】	安全で安心して 過ごせる居場所 43.9%	家庭での教育やしつけ/ 教育や保育環境の充実 22.0%		子どもが自由に 遊べる環境 19.5%	地域の人たち との交流 4.9%
40歳代 【回答数=49】	安全で安心して 過ごせる居場所 38.8%	家庭での教育 やしつけ 28.6%	子どもが自由に遊べる環境/ 地域の人たちとの交流/ 教育や保育環境の充実 10.2%		
50歳代 【回答数=61】	安全で安心して 過ごせる居場所 32.8%	家庭での教育 やしつけ 31.1%	子どもが自由に 遊べる環境 13.1%	地域の人たちとの交流/ 教育や保育環境の充実 9.8%	
60歳代 【回答数=110】	安全で安心して 過ごせる居場所 24.5%	家庭での教育 やしつけ 23.6%	子どもが自由に 遊べる環境 18.2%	教育や保育環 境の充実 17.3%	地域の人たち との交流 8.2%
70歳以上 【回答数=146】	安全で安心して 過ごせる居場所 26.7%	家庭での教育 やしつけ 23.3%	子どもが自由に 遊べる環境 14.4%	地域の人たち との交流 10.3%	教育や保育環 境の充実 8.2%

男女別にみると、男女とも「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が第1位であり、次いで「家庭での教育やしつけ」となっている。

問 20 小中学校の基礎学力の向上策 あなたは、区内小・中学生の基礎学力を向上させるために、どのような施策が必要だと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=220、2=22、3=22、4=20、5=87、6=15

※複数回答：1・2=2、1・2・4=2、1・3=1、1・4=4、1・4・6=1、1・6=3

※「その他」の主な内容：親の教育・しつけ (6)、家庭学習のすすめ (3)、子ども本人のやる気を引き出す (3)、教員の資質向上 (2)、少人数制教育、学校と家庭等との連携 など

区内の小中学校の基礎学力を向上させるための施策（複数回答）は、「学校教育の充実」が53.0%と最も多く、次いで「わからない」が19.9%となっている。

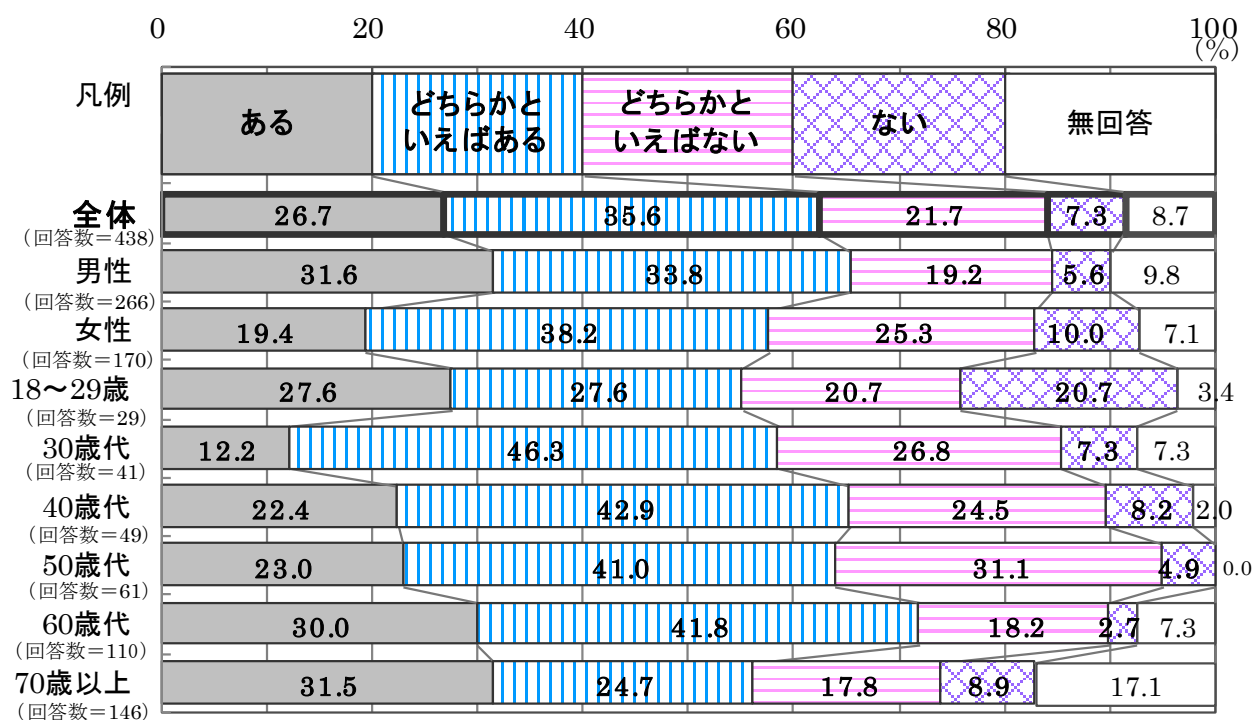
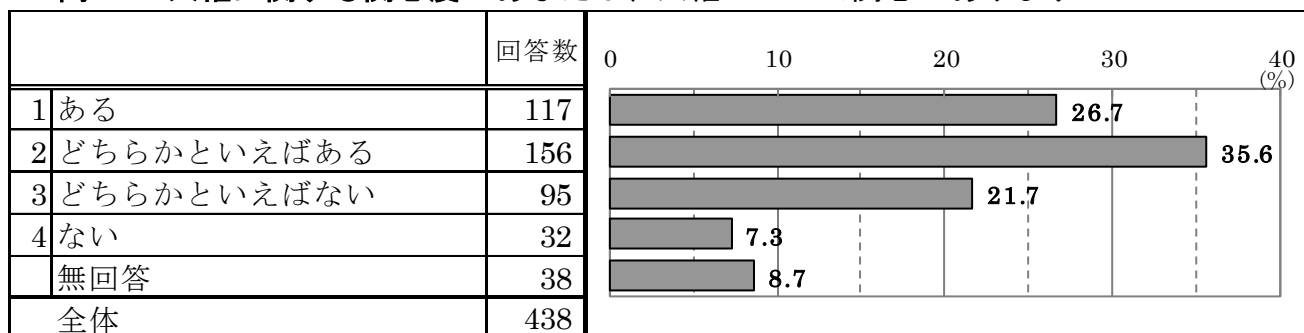
【男女・年代別 小中学校の基礎学力の向上策（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全体 【回答数=438】	学校教育の充実 53.0%	わからない 19.9%	読書活動の推進 5.9%	学習塾等の活用支援 5.7%	基礎学力向上支援事業 5.3%
男性 【回答数=266】	学校教育の充実 51.5%	わからない 18.8%	読書活動の推進 6.4%	基礎学力向上支援事業 5.6%	学習塾等の活用支援 4.5%
女性 【回答数=170】	学校教育の充実 55.3%	わからない 21.2%	学習塾等の活用支援 7.6%	読書活動の推進/ その他	5.3%
18～29歳 【回答数=29】	学校教育の充実 58.6%	わからない 24.1%	学習塾等の活用支援/読書活動の推進/ 基礎学力向上支援事業/その他		6.9%
30歳代 【回答数=41】	学校教育の充実 68.3%	学習塾等の活用支援 9.8%	基礎学力向上支援事業/ その他	7.3%	読書活動の推進/ わからない 2.4%
40歳代 【回答数=49】	学校教育の充実 69.4%	わからない 14.3%	読書活動の推進 10.2%	学習塾等の活用支援/ その他	8.2%
50歳代 【回答数=61】	学校教育の充実 57.4%	学習塾等の活用支援/ わからない	11.5%	その他 8.2%	基礎学力向上支援事業 6.6%
60歳代 【回答数=110】	学校教育の充実 50.0%	わからない 20.0%	読書活動の推進 8.2%	基礎学力向上支援事業 6.4%	学習塾等の活用支援 4.5%
70歳以上 【回答数=146】	学校教育の充実 42.5%	わからない 28.8%	基礎学力向上支援事業/ 読書活動の推進	4.8%	学習塾等の活用支援 2.1%

男女別にみると、男女とも第1位は「学校教育の充実」であり、第2位は「わからない」となっている。

5. 「人権・生涯学習」に関して

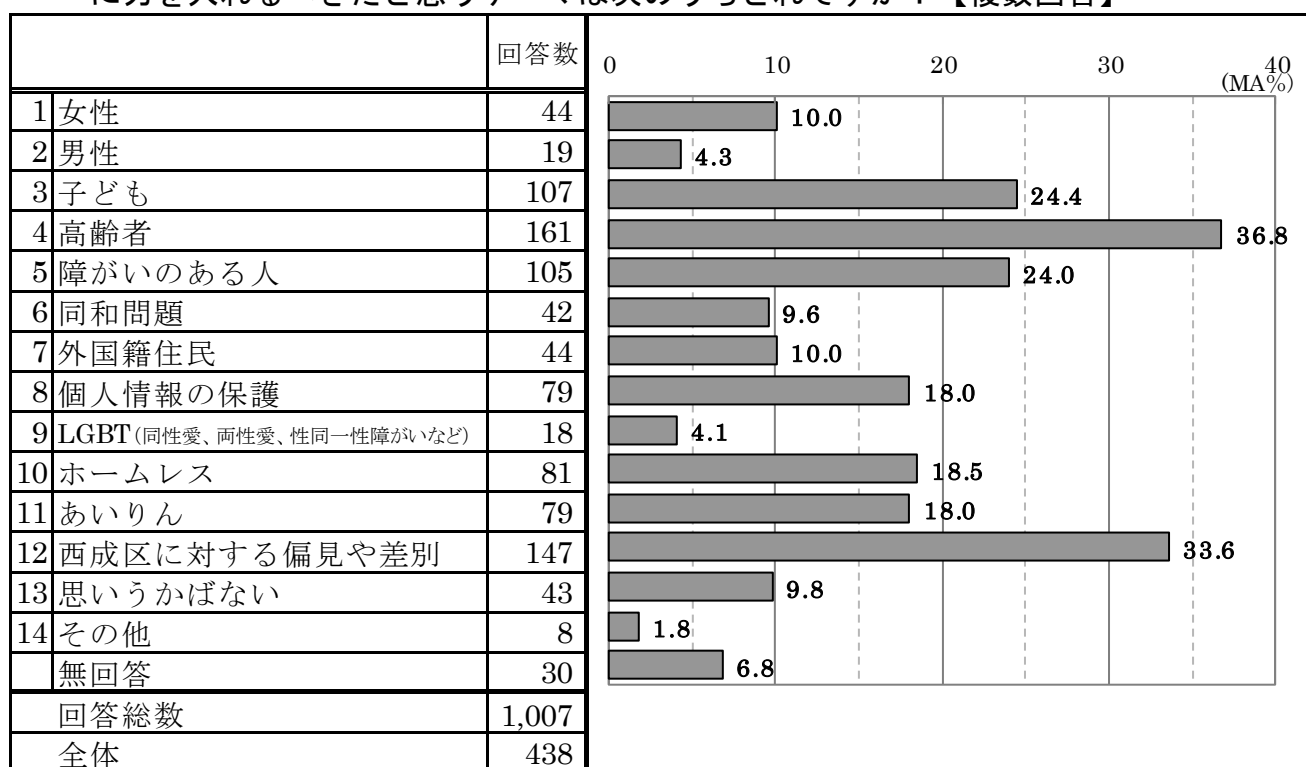
問 21 人権に関する関心度 あなたは、人権について関心がありますか？



人権についての関心度は、「どちらかといえばある」が35.6%と最も多く、次いで「ある」が26.7%であり、合わせて“人権について関心がある”人は、62.3%となっている。

男女別にみると、“人権について関心がある”のは『男性』が65.4%、『女性』が57.6%となっている。

問 22 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ あなたが、区の人権啓発事業で、特に力を入れるべきだと思うテーマは次のうちどれですか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：貧困問題（3）、ひとり親家庭、個人に対する偏見 など

区の人権啓発事業で特に力を入れるべきテーマ（複数回答）は、「高齢者」が 36.8%と最も多く、次いで「西成区に対する偏見や差別」が 33.6%、「子ども」が 24.4%となっている。

【男女・年代別 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全 体 【回答数=438】	高齢者 36.8%	西成区に対する 偏見や差別 33.6%	子ども 24.4%	障がいのある人 24.0%	ホームレス 18.5%
男性 【回答数=266】	高齢者 41.4%	西成区に対する 偏見や差別 31.6%	障がいのある人 25.2%	子ども 23.3%	ホームレス 21.1%
女性 【回答数=170】	西成区に対する 偏見や差別 36.5%	高齢者 29.4%	子ども 25.9%	障害のある人 22.4%	あいりん 15.9%
18～29 歳 【回答数=29】	子ども 41.4%	西成区に対する 偏見や差別 34.5%	高齢者／外国籍住民／ ホームレス／あいりん 31.8%		
30 歳代 【回答数=41】	子ども／西成区に対する偏見や差別 43.9%		障がいのある人 26.8%	個人情報の保 護 22.0%	高齢者／ホー ムレス／あい りん 19.5%
40 歳代 【回答数=49】	西成区に対する 偏見や差別 34.7%	高齢者 28.6%	障がいのある人／ あいりん 22.4%		個人情報の保 護 20.4%
50 歳代 【回答数=61】	高齢者 42.6%	西成区に対する 偏見や差別 34.4%	子ども 27.9%	障がいのある人 24.6%	個人情報の保 護／あいりん 21.3%
60 歳代 【回答数=110】	西成区に対する 偏見や差別 40.0%	高齢者 39.1%	子ども 27.3%	障がいのある人 24.5%	あいりん 20.0%
70 歳以上 【回答数=146】	高齢者 42.5%	障がいのある人／ 西成区に対する偏見や差別 24.7%		子ども／ ホー ム レ ス 20.0%	子ども 14.4%

男女別にみると、『男性』は第1位が「高齢者」であり、『女性』は「西成区に対する偏見や差別」となっている。第2位は『男性』が「西成区に対する偏見や差別」、『女性』が「高齢者」となっている。

問 23 知っている生涯学習事業 小学校や中学校を拠点として実施している生涯学習事業で、あなたがご存知のものはありますか？【複数回答】

		回答数	0	10	20	30	40	50	60
			(MA%)						
1	生涯学習ルーム事業	112	25.6						
2	はぐくみネット事業	44	10.0						
3	学校体育施設開放事業	70	16.0						
4	いずれも知らない	247	56.4						
	無回答	41	9.4						
回答総数		514							
全体		438							

知っている生涯学習事業（複数回答）は、「いずれも知らない」が 56.4%と最も多く、次いで「生涯学習ルーム事業」が 25.6%、「学校体育施設開放事業」が 16.0%となっている。

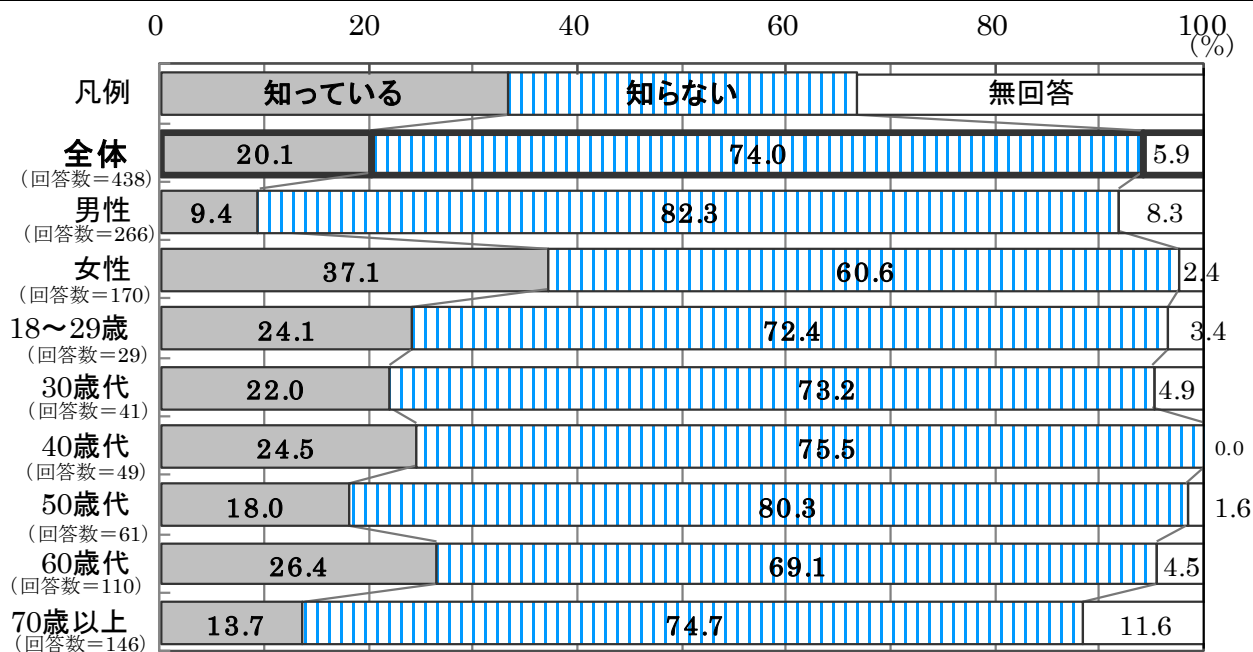
【男女・年代別 知っている生涯学習事業】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全体 【回答数=438】	いずれも知らない 56.4%	生涯学習ルーム事業 25.6%	学校体育施設開放事業 16.0%	はぐくみネット事業 10.0%	無回答 9.4%
男性 【回答数=266】	いずれも知らない 63.9%	生涯学習ルーム事業 15.8%	学校体育施設開放事業 13.5%	はぐくみネット事業 5.6%	無回答 12.8%
女性 【回答数=170】	いずれも知らない 44.1%	生涯学習ルーム事業 41.2%	学校体育施設開放事業 20.0%	はぐくみネット事業 17.1%	無回答 4.1%
18～29歳 【回答数=29】	いずれも知らない 48.3%	学校体育施設開放事業 27.6%	生涯学習ルーム事業 24.1%	はぐくみネット事業 10.3%	無回答 3.4%
30歳代 【回答数=41】	いずれも知らない 56.1%	生涯学習ルーム事業 31.7%	はぐくみネット事業 17.1%	学校体育施設開放事業 12.2%	無回答 4.9%
40歳代 【回答数=49】	いずれも知らない 57.1%	生涯学習ルーム事業 32.7%	学校体育施設開放事業 24.5%	はぐくみネット事業 18.4%	無回答 0.0%
50歳代 【回答数=61】	いずれも知らない 60.7%	生涯学習ルーム事業 24.6%	学校体育施設開放事業 19.7%	はぐくみネット事業 11.5%	無回答 1.6%
60歳代 【回答数=110】	いずれも知らない 54.5%	生涯学習ルーム事業 33.6%	学校体育施設開放事業 15.5%	はぐくみネット事業 8.2%	無回答 7.3%
70歳以上 【回答数=146】	いずれも知らない 56.8%	生涯学習ルーム事業 16.4%	学校体育施設開放事業 11.0%	はぐくみネット事業 6.2%	無回答 19.9%

男女別にみると、男女とも第1位が「いずれも知らない」であり、第2位が「生涯学習ルーム事業」、第3位が「学校体育施設開放事業」となっている。

問 24 西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度 あなたは、西成区内の生涯学習ルームおよび関連施設が、活動成果を一堂に展示・発表する「西成区生涯学習フェスティバル」が開催されているのを知っていますか？

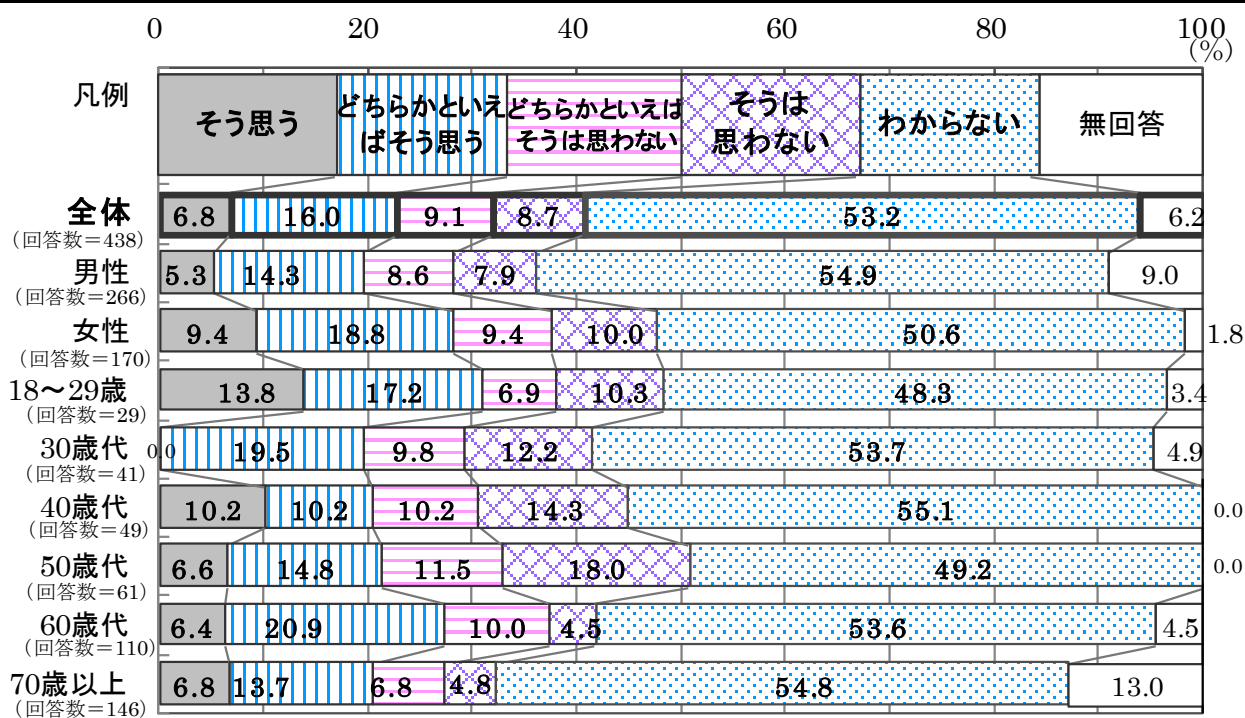
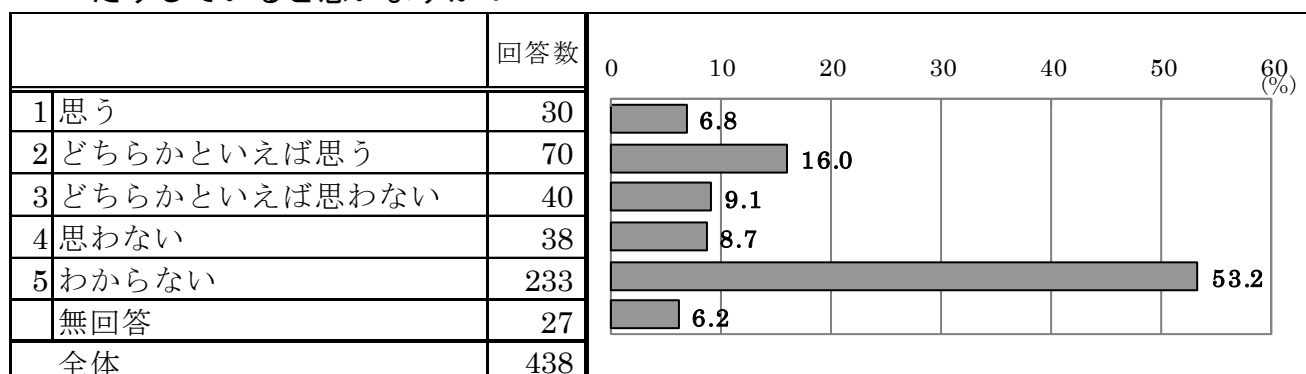
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	(%)
1 知っている	88	[Bar chart showing 20.1%]									
2 知らない	324	[Bar chart showing 74.0%]									
無回答	26	[Bar chart showing 5.9%]									
全体	438										



西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度は、「知っている」が20.1%、「知らない」が74.0%となっている。

男女別にみると、「知っている」は『男性』が9.4%、『女性』が37.1%であり、「知らない」は、『男性』が82.3%、『女性』が60.6%となっている。

問 25 生涯学習活動による地域のつながりの深化の感想 西成区では、問 23 や問 24 のような地域の生涯学習に関わる活動を、地域のつながりづくりに役立つものとして支援しています。あなたは、その活動により、つながりが深まったり、広がったりしていると思いますか？



地域の生涯学習に関わる活動が地域のつながりが深まったり、広がったりしていることについては、「わからない」が53.2%であり、「どちらかといえば思う」が16.0%となっている。

「思う」(6.8%)と「どちらかといえば思う」(16.0%)を合わせた“地域のつながりが深まったり、広まったりしていると思っている”人は、22.8%となっている。

男女別にみると、“地域のつながりが以前に比べて高まったと思っている”人は、『男性』が19.2%、『女性』が20.1%となっている。